

新井の頭通り(都道放射第23号線)
についての住民アンケート調査結果
概要報告書

平成28年3月

明大前駅周辺地区街づくり協議会

◆ 新井の頭通り(都道放射第23号線)についての住民アンケート調査結果 概要版

目次

■ 著作権と引用など二次利用について	2	(1) 問6 完成した後の便利度 全体	11
● 概要報告書について	2	(2) 問6 完成した後の便利度 一覧	11
● 報告書の見方	2	ア 便利になる	11
		イ 不便になる	11
第1 調査概要	2	7 問8 1) 東京都計画案の評価	12
1 調査の目的	2	(1) 問8 1) 東京都計画案の評価 全体	12
2 地域	2	(2) 問8 1) 属性別東京都計画案の評価 一覧	12
3 対象	2	ア 評価する	12
4 実施期間	2	イ 評価しない	12
5 調査方法	2	8 問9 2) 地下トンネル化案の評価	13
6 調査項目	2	(1) 問9 2) 地下トンネル化案の評価 全体	13
7 回収状況	2	(2) 問9 2) 属性別地下トンネル化案の評価 一覧	13
(1) 住所別配布回収状況	3	ア 評価する	13
(2) 地域別配布回収状況	3	イ 評価しない	13
8 調査企画	3	9 問10 3) 円形状周回路案の評価	14
9 調査にあたり受けた助成	3	(1) 問10 3) 円形状周回路案の評価 全体	14
		(2) 問10 3) 属性別円形状周回路案の評価 一覧	14
第2 回答者の属性 (アンケート問16の調査結果) ..	4	ア 評価する	14
1 住所	4	イ 評価しない	14
2 地域	4	10 問8～問10 各案の評価一覧	15
3 住居形式	4	(1) 問8～問10 各案の評価一覧 全体	15
4 土地の所有	4	(2) 問8～問10 属性別 各案の評価一覧	15
5 建物の所有	4	ア 問8～問10 住所別 各案の評価一覧	15
6 居住年数	4	イ 問8～問10 地域別 各案の評価一覧	15
7 回答者性別	4	ウ 問8～問10 居住年数別 各案の評価一覧	16
8 回答者年代	4	エ 問8～問10 回答者年代別 各案の評価一覧	16
9 回答者家族数	5	オ 問8～問10 家族数別 各案の評価一覧	16
10 使用乗り物	5	カ 問8～問10 性別 各案の評価一覧	17
(1) 使用乗り物	5	キ 問8～問10 完成後便利度別 各案の評価一覧	17
(2) 最も多く使った乗り物	5	ク 問8～問10 三案中一位選択別 各案の評価一覧	17
第3 アンケート調査の結果	6	11 問1～問10 住所別及び地域別 回答内容 一覧纏め	18
1 問1 認知度	6	(1) 問1～問10 住所別質問別 回答「はい」の比率 一覧	18
(1) 問1 全体	6	ア 23号線との関係から見た住所の特性	18
(2) 問1 属性別認知度 一覧	6	イ 住所別質問別 回答「はい」の比率 一覧	18
ア 知っている	6	(2) 問1～問10 地域別質問別 回答「はい」の比率 一覧	19
イ 知らなかった	6	ア 23号線との関係から見た地域の特性	19
2 問2 関心度	7	イ 地域別質問別 回答「はい」の比率 一覧	19
(1) 問2 全体	7	12 問11 三案中一位選択の結果	20
(2) 問2 属性別関心度 一覧	7	(1) 問11 三案中一位選択の結果 全体	20
ア 関心がある	7	(2) 問11 三案中一位選択の結果 属性別一覧	20
イ 関心がない	7	13 問12 三案中一位選択の理由	21
3 問3 環境への影響度	8	(1) 問12 三案中一位選択の理由	21
(1) 問3 環境への影響度 全体	8	ア 東京都案	21
(2) 問3 環境への影響度 一覧 住所別	8	イ 地下案	21
(3) 問3 環境への影響度 一覧 地域別	8	ウ 周回案	21
4 問4 住民各層への影響度	9	(2) 問12 三案中一位選択の理由	22
(1) 問4 住民各層への影響度 全体	9	ア 問12 三案中一位選択の理由「はい」のグラフ	22
(2) 問4 住民各層への影響度 一覧 住所別	9	イ 問12 三案中一位選択の理由「いいえ」のグラフ	22
(3) 問4 住民各層への影響度 一覧 地域別	9	参考資料	23
5 問5 道路の構造仕様の必要度	10	1 アンケート参考資料	23
(1) 問5 道路の構造仕様の必要度 全体	10	2 アンケート調査票	24
(2) 問5 道路の構造仕様の必要度 一覧 住所別	10		
(3) 問5 道路の構造仕様の必要度 一覧 地域別	10		
6 問6 完成した後の便利度	11		

■ 著作権と引用など二次利用について

1. 本報告書の著作権は明大前駅周辺地区まちづくり協議会にあります。引用等二次利用する場合は著作権法が定める著作権制限規定に従ってください。引用する場合も引用ルールに従って引用してください。
2. 特定の主張に本報告書内容を利用する場合は、「資料を引用した主張については引用者の主張であり、協議会の見解を示すものではない」と分かるようにしてください。以上のルールに則って利用する場合は本協議会の利用許諾は不要です。

● 概要報告書について

本報告書は下記調査概要に記した内容で実施した「新井の頭通（都道放射第23号線）についてのアンケート」結果の概要報告である。

15質問中の自由回答方式の問7,13,14,15を除く11問の回答概要を記している。

概要報告書では回答の構成比率を示しているが、各質問の回答数や無回答、上記自由回答も含めたアンケート回答全容は「詳細報告書」に取り纏めている。

● 報告書の見方

- (1) 構成比の%算出については、各項目の回答数や小計後の回答数及び総合計の回答数を総合計の回答数で割り、小数点第3位を四捨五入して%表示した。
小計や合計の%は個別項目の%を加算して出しているのではない。そのため、小計や合計が個別項目の%の合計とならない場合がある。
- (2) クロス集計は回答者属性及び問6の完成後便利度問11の三案中一位選択結果とで行っている。
- (3) 本報告書ではアンケート用紙の「東京都計画案」を「東京都案」、「地下トンネル化案」を「地下案」、「円形状周回道路案」を「周回案」と略記する場合がある。
- (4) 無回答の構成比を掲載していない項目は、本報告書の回答「はい」「いいえ」の合計が100%にならない場合がある。

第1 調査概要

1 調査の目的

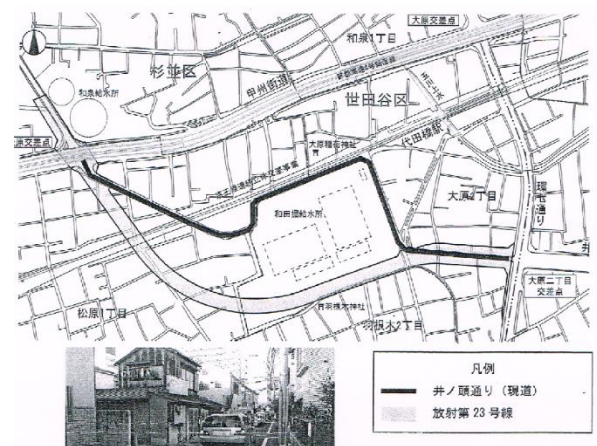
2014年12月12日、東京都建設局第二建設事務所は、環状七号線交差点から甲州街道までの区間に係る放射線街路第23号線（以下、単に「23号線」という。）について「事業概要及び測量説明会と環境配慮の方策に関する説明会」を開催しました。

本計画は1966年に都市計画決定されましたが、

半世紀近い年月が流れ、当時の状況を知る住民も少ないのが現状です。そこで明大前駅周辺地区街づくり協議会は今後の街づくりに生かすべく、本計画に対する現在の住民の意識を把握するためアンケート調査を実施しました。

2 地域

都市計画道路都道放射第23号線（通称井の頭通り）世田谷区大原二丁目から杉並区和泉二丁目までのうち、世田谷区内の予定地両側約100m範囲の住民。行政区域としては、世田谷区松原1丁目、羽根木2丁目、大原2丁目に属する範囲。



3 対象

今回の調査に当たっては調査地域の一般戸建て住宅（分譲マンションも含む）の一戸一戸の住民（実際に当該住宅に居住している住民）を対象としました。一般のアパート住民は対象としていません。アンケート記入は一户当たり1アンケート回答とし、アンケート記入者は世帯主に限るなどの限定はせず、各戸の判断に任せました。

4 実施期間

2015年11月28日・29日（調査票配布）～
12月20日（調査票回収）。

*2016年1月末迄に返信されたものも有効としました。

5 調査方法

・自記入式郵送調査。

6 調査項目

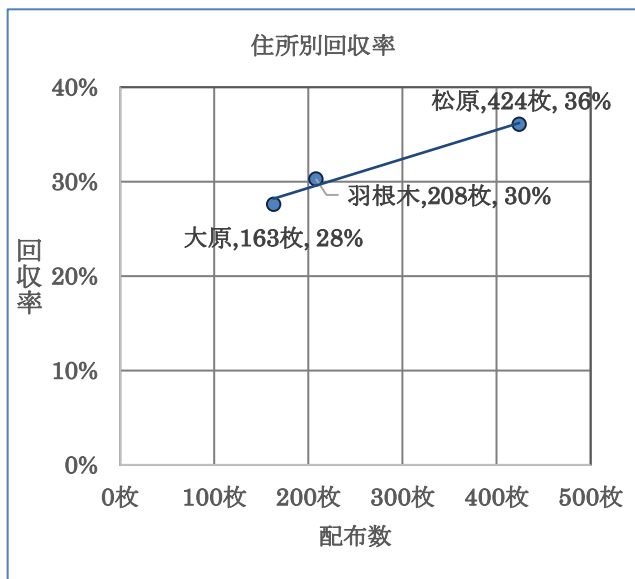
後掲のアンケート調査票を参照

7 回収状況

795部配付し、264部回収。（回収率：33.2%）

(1) 住所別配布回収状況

	配布		回収		
	枚数	構成比	枚数	構成比	回収率
松原	424	53%	153	58%	36%
羽根木	208	26%	63	24%	30%
大原	163	21%	45	17%	28%
小計	795	100%	261	99%	33%
無回答	—	—	3	1%	0%
合計	795	100%	264	100%	33%



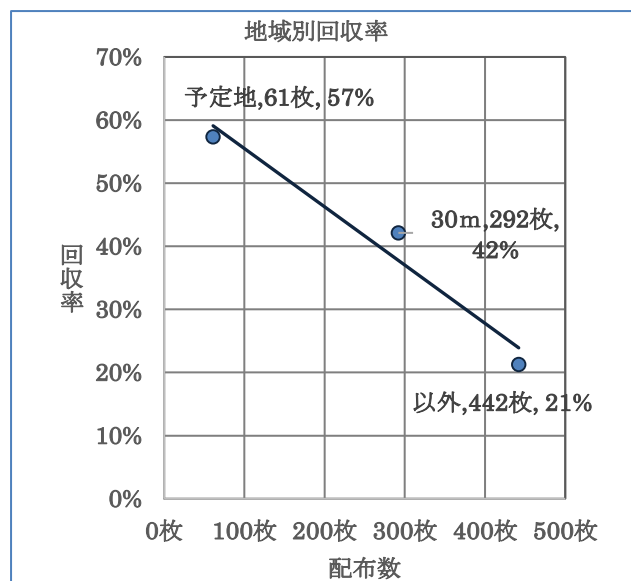
※ 住所別配布数と回収率の相関を調べると
 $R=0.988384741$ で高い相関が認められる。

配布枚数は住所別の戸建て住居数にほぼ該当する
 と考えられるので、住居数に比例したアンケート回
 答が得られていると判断できる。

以上のことからアンケート結果は住居数に比例し
 た住民の声を正しく反映していることが分かる。

(2) 地域別配布回収状況

	配布		回収		
	枚数	構成比	枚数	構成比	回収率
予定地	61	8%	35	13%	57%
30m	292	37%	123	47%	42%
以外	442	56%	94	36%	21%
小計	795	100%	252	95%	32%
無回答	-	-	12	5%	2%
合計	795	100%	264	100%	33%



※ 地域別配布数と回収率の相関を調べると $R=-0.977723095$ で高い負の相関が認められる。

23号線計画で最も影響を受ける「予定地」は配布枚数（＝住戸数）は少ないがアンケート回答率（＝回収率）は高く、影響が相対的に低い「その他」地域は配布枚数（＝住戸数）は多いがアンケートの回答率は低い。ここから次のことが分かる

①23号線計画で影響の受け方が高い地域は住戸数が少ない、一方影響の受け方が少ない地域は住戸数が多い

②23号線計画で影響の受け方が高い地域はアンケートの回答率（＝回収率）が高く、影響の受け方が低い地域はアンケートの回答率が低い

③よって地域別配布数と回収率は負の相関を示す
 以上のように23号線計画で影響を受ける程度に比例したアンケート回収であるので、アンケート結果は23号線計画で影響を受ける程度を正しく反映した住民の声であることが分かる。

8 調査企画

明大前駅周辺地区街づくり協議会が企画、設問、配布、回収を実施いたしました。

この調査を行うにあたっては、交通社会学がご専門の千葉大学名誉教授・鈴木春男先生と交通工学がご専門の国土館大学理工学部教授・寺内義典先生のご指導を仰ぎました。

調査票の配布と回収に国土館大学理工学部・寺内研究室の学生諸氏にご協力を頂きました。

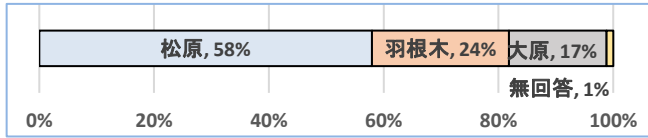
9 調査にあたり受けた助成

本活動は「一般財団法人・世田谷トラスト街づくり」による「公益信託世田谷まちづくりファンド」の助成を受けています。

第2 回答者の属性（アンケート問16の調査結果）

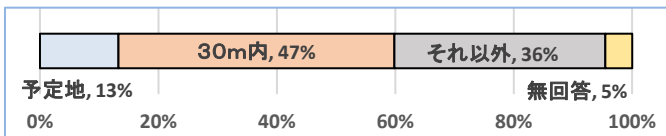
1 住所

※回答者の住所構成比は松原が58%と最も多く、以下羽根木24%、大原17%と続く



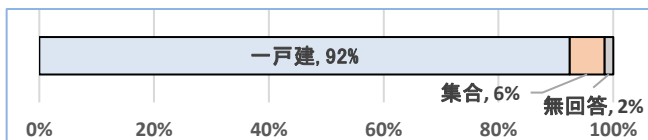
2 地域

※回答者の23号線との位置関係を問う質問に対して、(予定地ではないが)30m内が最も多く47%、次いで予定地、30m以内のいずれでもないそれ以外が36%、予定地は13%である。



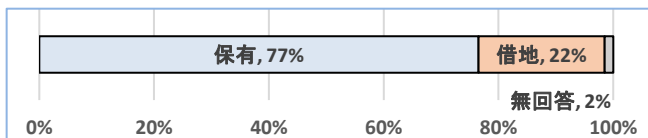
3 住居形式

※アンケートの3対象に「今回の調査に当たっては調査地域の一般戸建て住宅(分譲マンションも含む)の戸建ての住民(実際に当該住宅に居住している住民)を対象としました。一般のアパート住民は対象としていません。」とあるので戸建てが92%多いのは「当然」といえる。



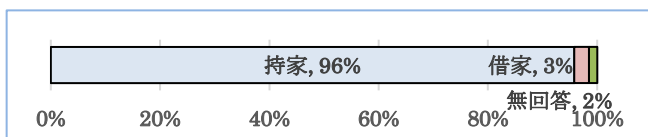
4 土地の所有

※回答者の土地がどのような状態かを示している。保有が77%、借地が22%である



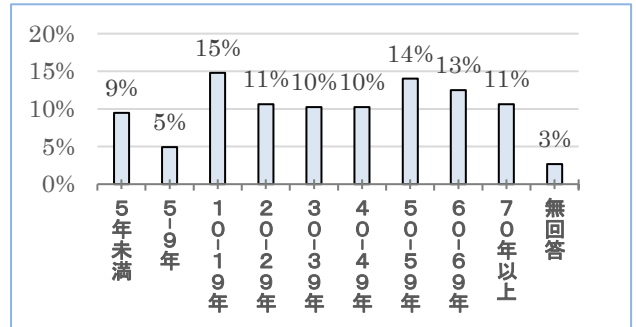
5 建物の所有

※回答者の建物がどのような状態かを示している。持ち家が96%である。



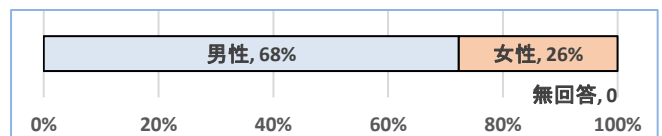
6 居住年数

※回答者の居住年数は10-19年の15%と50-59年の14%の2つの山がある。ただし10年未満は9%と5%を足した14%なので10年刻みで見ると居住年数の割合はほぼ変わらない。



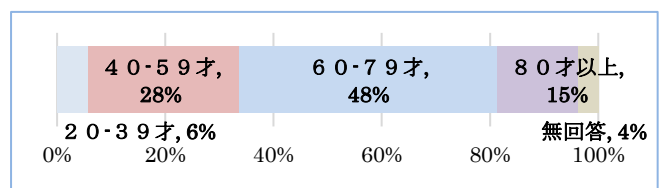
7 回答者性別

※回答者の性別は男性が68%、女性が26%である。この地域の住民の性別数との比較はしていない。しかし、一般に男女がほぼ同数とすると、アンケートの回答者は世帯主など特に限定しなかったが、世帯主は男性が多いと思われ、世帯主の記入が多かったのではないかと推定される。以下のクロス集計にて、性別とクロスした結果に性別に有意の差があるかどうかは注意を要する



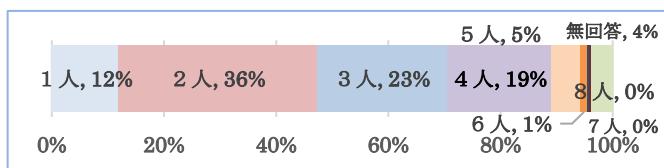
8 回答者年代

※回答者の年代は60~79才が48%が一番多く、次いで40~59才が28%、80歳以上が15%である。これは7-1項のコメント同様に世帯主が記入した例が多いことによると思われる。この地域の住民の年齢構成との比較が必要だが、20~39才の回答比率が6%であることも含めて青年層、壮年層の考えがどうなっているかについては注意が必要



9 回答者家族数

※回答者の家族数は2人が36%と最も多く、次いで3人の23%、4人の19%、1人の12%である

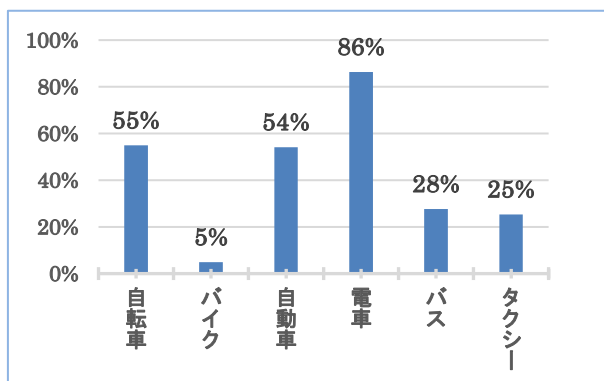


10 使用乗り物

(1) 使用乗り物

【問： あなたはこの1か月に以下の乗り物をお使いになりましたか？いくつでもお答えください。】(複数回答)

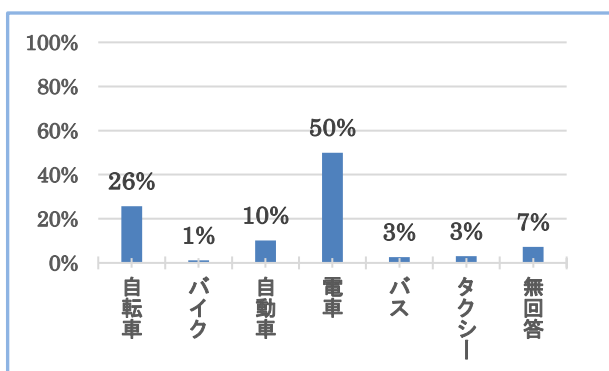
※回答者のうち86%が電車を利用し、次いで自転車利用が55%、自動車利用が54%である事が分かる



(2) 最も多く使った乗り物

【問： 最も多くお使いになった乗り物を一つだけお選び下さい。】

※最も多く使った乗り物は50%の回答者が電車、次いで26%の自転車、10%の自動車と続く

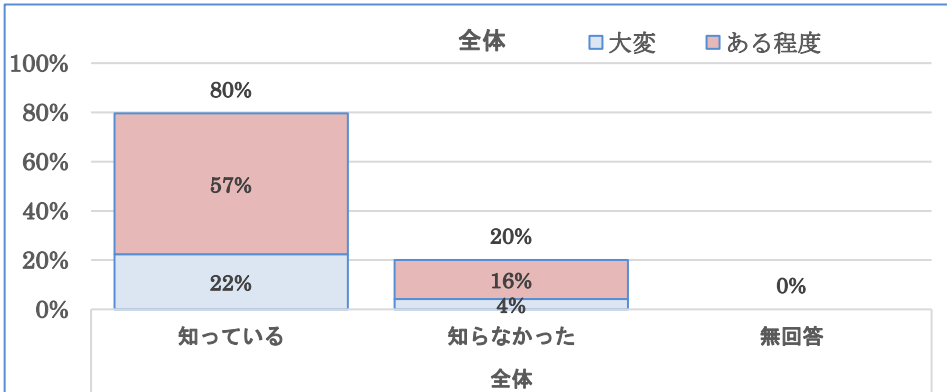


第3 アンケート調査の結果

1 問1 認知度

【問：あなたは、都市計画道路「放射第23号線」（井の頭通り）の計画案をご存じでしたか？一番近い回答を選んで、あてはまる番号に○印をつけて下さい。（○は一つだけ）】

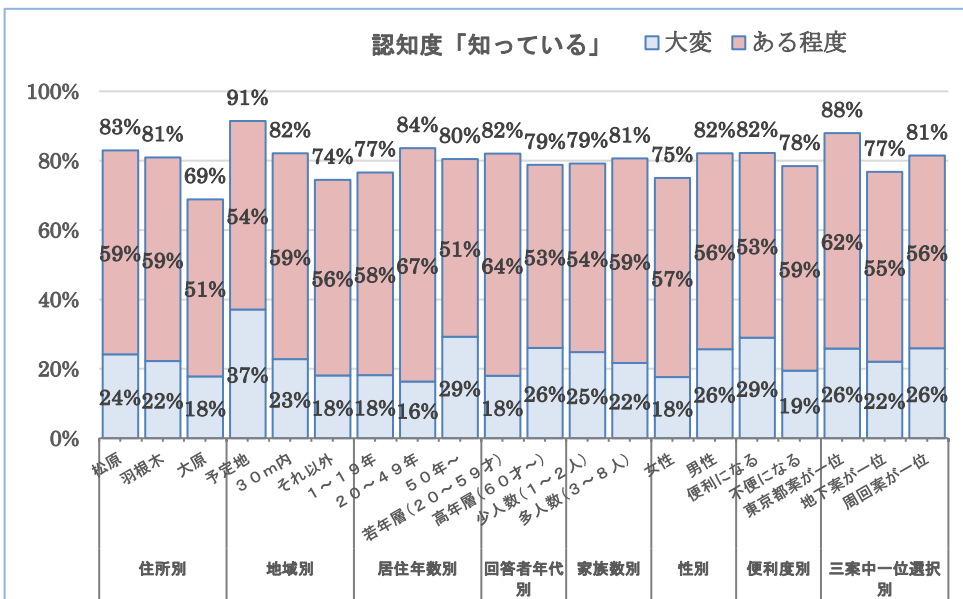
(1) 問1 全体



●80%の回答者が「知っている」と回答

(2) 問1 属性別認知度 一覧

ア 知っている

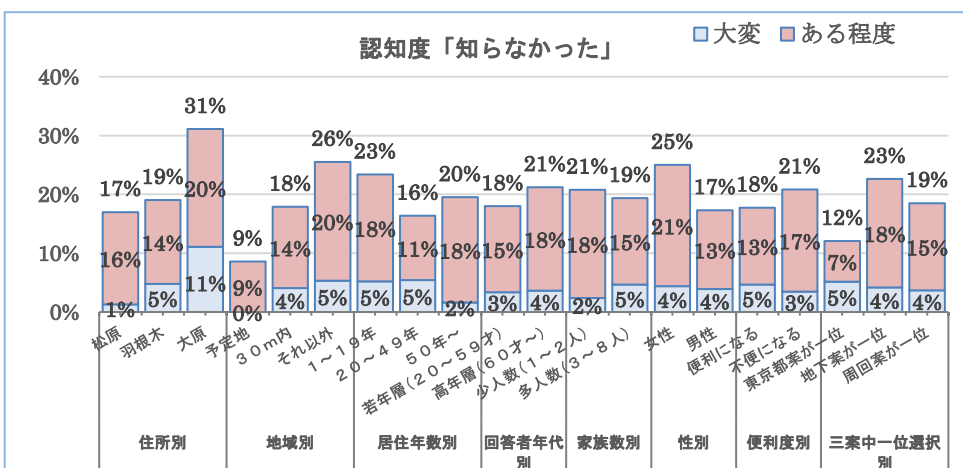


●属性別に認知度を見るとそれほど大きな差はない。その中では、地域で23号線計画予定地の認知度が91%、三案中一位選択別で東京都案が一位層の認知度が88%と高いことが分かる。

●一方住所別で大原の認知度が69%、地域で23号線の周辺30m~100mの「それ以外」が74%と認知度が低い。

●女性の認知度が75%となっているが調査概要で記したように男女で回答数に大きな差があることに注意が必要（以下の項目でも同様なので都度の注記はしない）

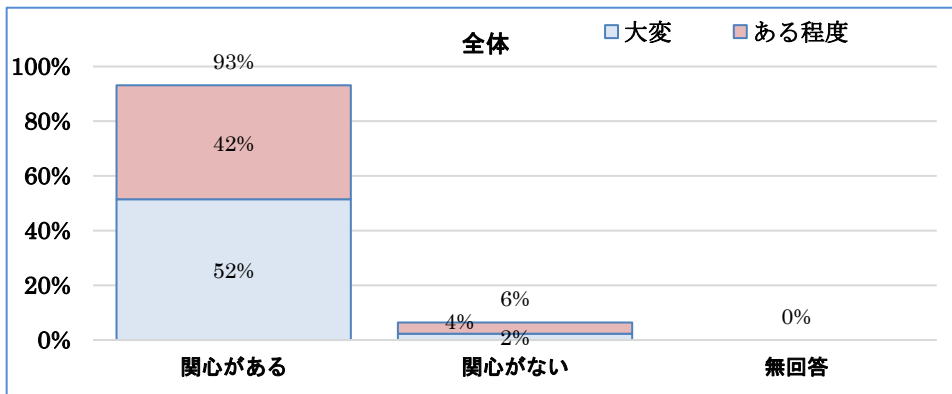
イ 知らなかった



2 問2 関心度

【問：では、「放射第23号線」の計画案について、どの程度関心がありますか？（○は一つだけ）】

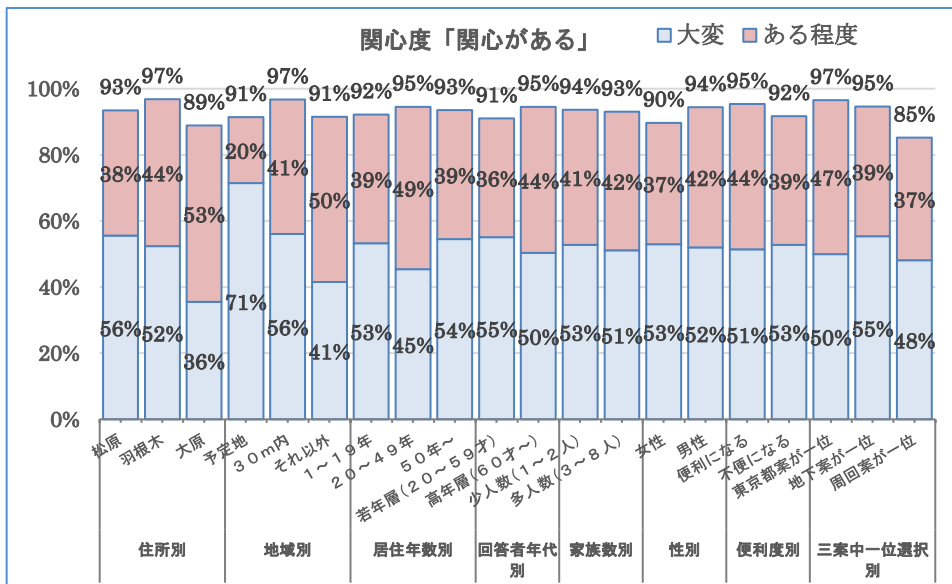
(1) 問2 全体



●全体の93%が23号線について関心があると回答。関心がないのは6%にとどまる

(2) 問2 属性別関心度 一覧

ア 関心がある

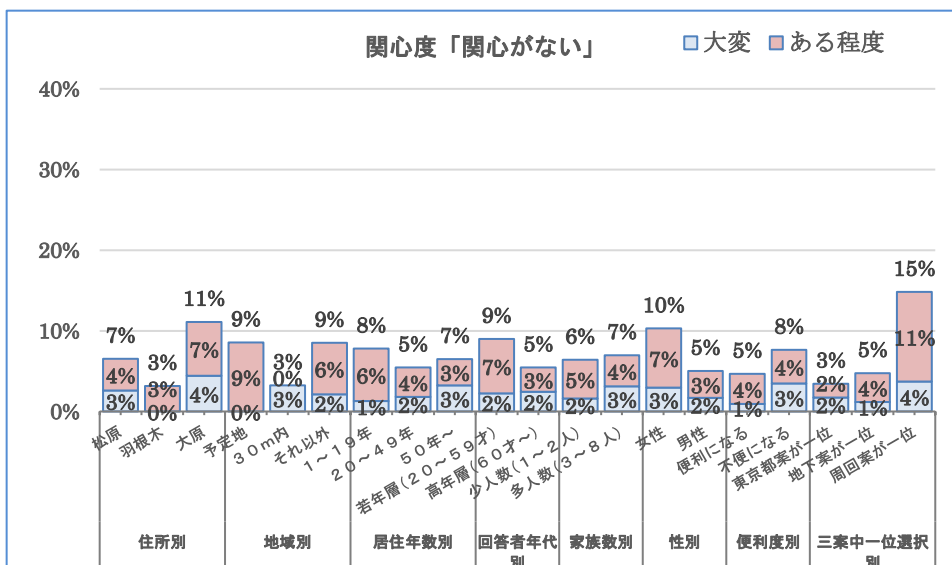


●どの属性も関心度は高い。なかでも高いのは、住所別で羽根木が97%、地域別で「予定地~30m」の「30m」が97%、三案中一位選択別で東京都案が一位層が97%を示している。

●逆に低いのは住所別で大原が89%、地域別で「予定地」、「それ以外」が91%、回答者年代別で「若年(20~59才)」が91%である。

●性別で女性が90%であるが回答数が少ないことに留意が必要。

イ 関心がない



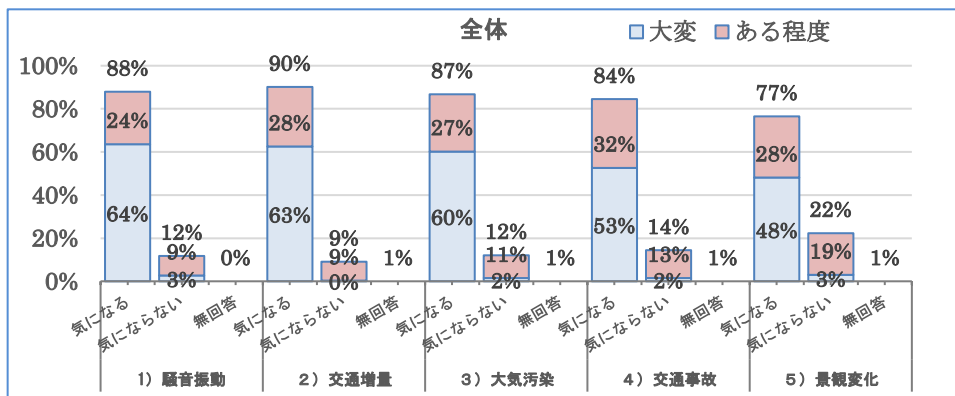
3 問3 環境への影響度

【問：「放射第23号線が完成した場合」、道路周辺の環境に関してどの程度、気になりますか？

(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(〇は各一つずつ)

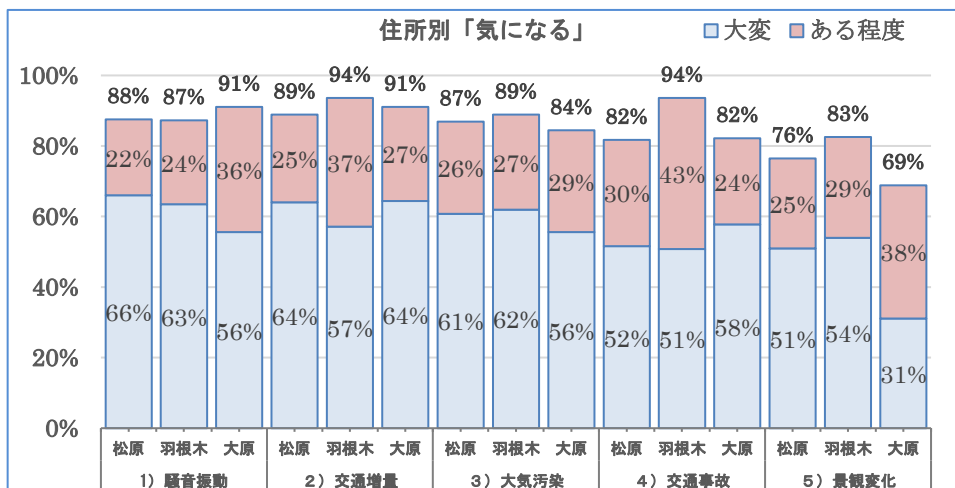
- (1) 車の騒音・振動については
- (2) 交通量が増えることについては
- (3) 車による大気汚染については
- (4) 交通事故の不安については
- (5) 景観が変わることについては】

(1) 問3 環境への影響度 全体



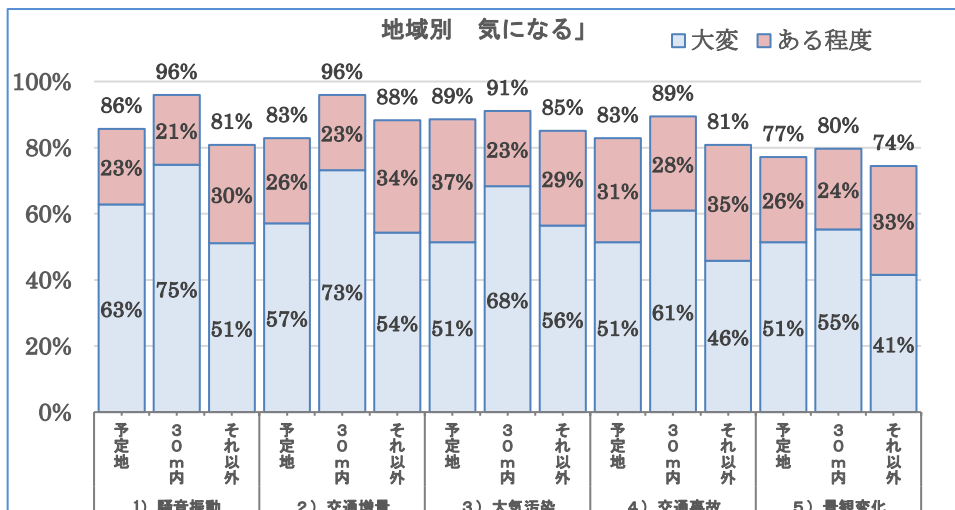
●環境への影響度について1) 騒音振動2) 交通増量3) 大気汚染4) 交通事故5) 景観変化についてアンケートしたが、全体的に関心は高い。
●一番関心が高いのは2) 交通増量で90%、一番低いのは5) 景観変化で77%あった

(2) 問3 環境への影響度 一覧 住所別



●環境への影響度について関心は高いが、騒音振動を除き、大原は羽根木より低い傾向にある。
●羽根木は交通事故で松原、大原より10%以上高い。
●大原は車の騒音振動で91%と関心が高い。
●松原は騒音振動、大気汚染、景観変化で羽根木と大原の中間に位置する。
●各住所とも景観変化への関心は他の項目より低い。

(3) 問3 環境への影響度 一覧 地域別



●概してどの地域も関心は高く、30m内、予定地、それ以外の順であるが、交通増量についてはそれ以外が、予定地より高い

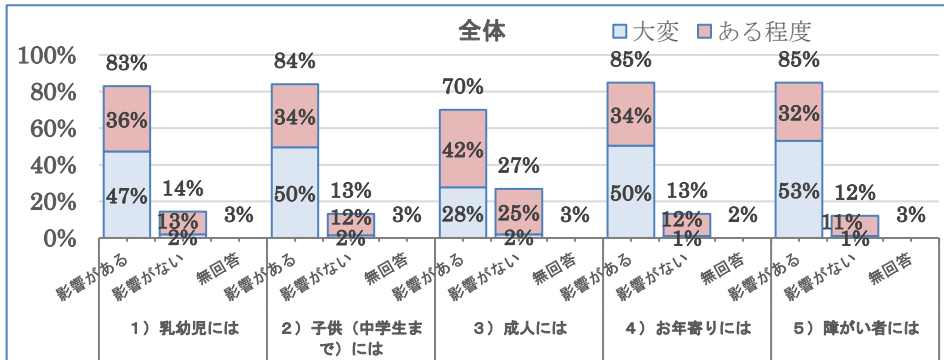
4 問4 住民各層への影響度

【問：道路が完成すると住民の各層にどの程度、影響があるとお考えになりますか？

(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(○は各一つずつ) (○は各一つずつ)

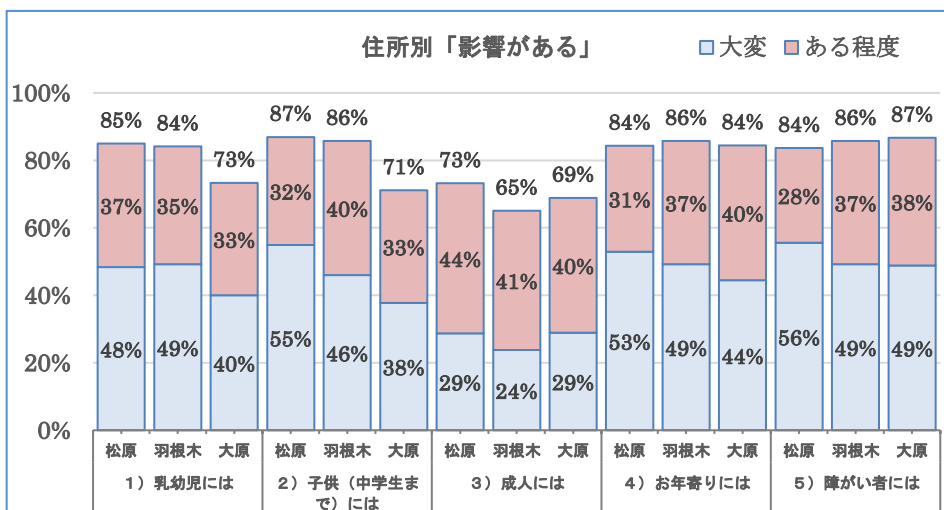
- (1) 乳幼児には
- (2) 子供(中学生まで)には
- (3) 成人には
- (4) お年寄りには、
- (5) 障がい者には、】

(1) 問4 住民各層への影響度 全体



●住民の各層に影響すると考えているが、成人層への影響は70%と若干低い回答になっている。

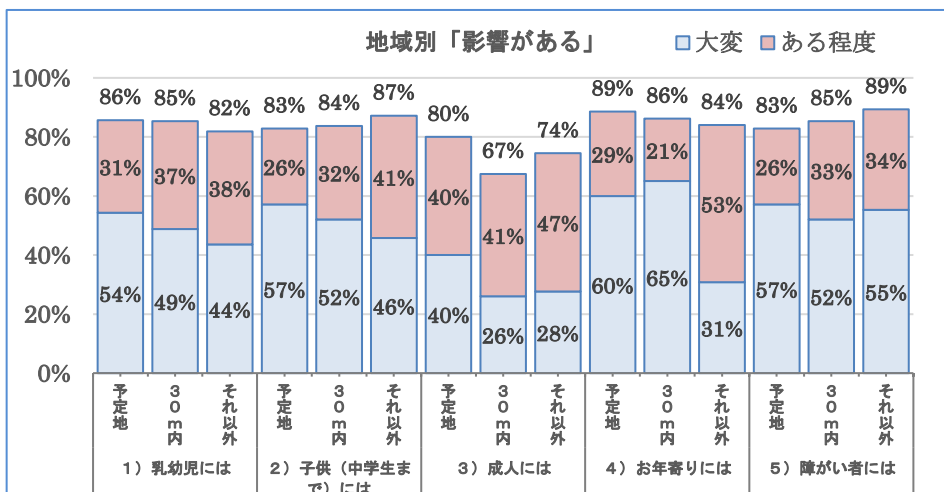
(2) 問4 住民各層への影響度 一覧 住所別



●住所別に各層への影響を見ると成人への影響は各住所で最も低い回答になっている

●大原が乳幼児73%、子供71%の影響があると想定的に低い回答になっている

(3) 問4 住民各層への影響度 一覧 地域別



●住民各層への影響度は地域別に大差ない。

●その中では成人層に対する影響は予定地80%、30m67%、それ以外74%と相対的に低い回答となっている。

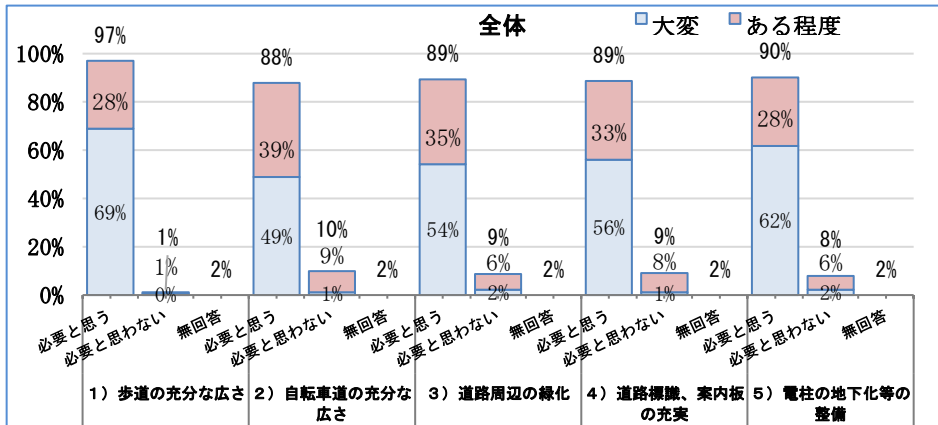
5 問5 道路の構造仕様の必要度

【問：同じく、道路の構造や仕様については、どの程度必要だと思いますか？

(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(〇は各一つずつ)

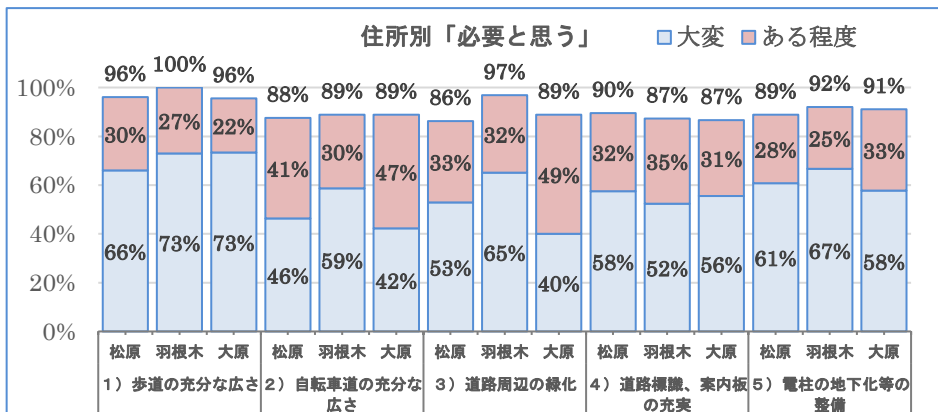
- (1) 歩道の十分な広さ
- (2) 自転車道の十分な広さ
- (3) 道路周辺の緑化
- (4) 道路標識や案内板の充実
- (5) 電柱の地下化等の整備】

(1) 問5 道路の構造仕様の必要度 全体



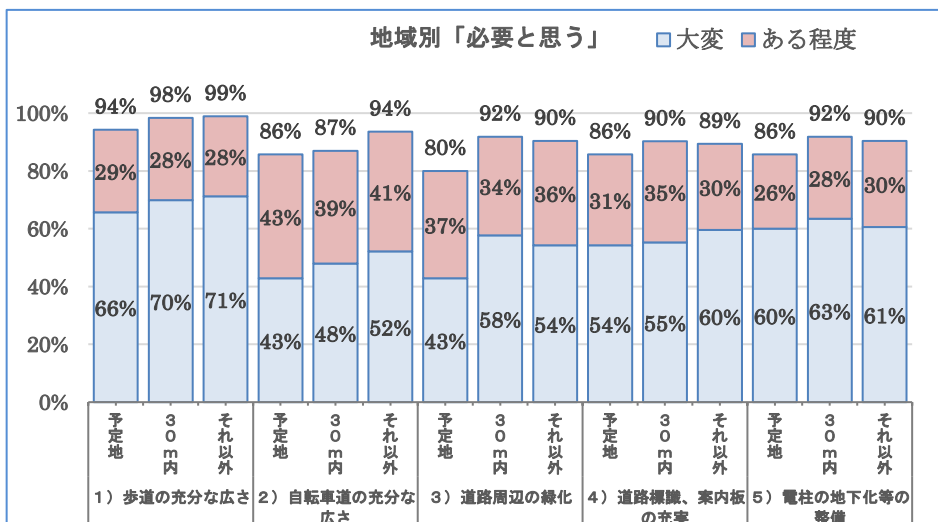
●道路の構造や仕様についての必要度はどの項目も大差ないが、歩道の十分な広さについての関心が97%と高い

(2) 問5 道路の構造仕様の必要度 一覧 住所別



●各区分について住所別では羽根木が歩道の十分な広さで100%、道路周辺の緑化で97%と高い関心を示している

(3) 問5 道路の構造仕様の必要度 一覧 地域別



●各区分について地域別の大きな差異は無い。中では予定地が道路周辺の緑化が80%など各項目で関心が他の地域より低い。

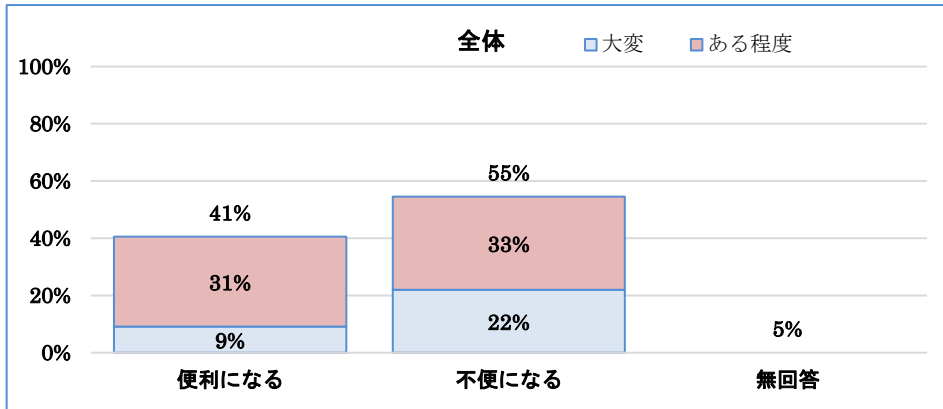
●「それ以外」が1) 歩道の十分な広さで99%、2) 自転車道の十分な広さで94%とその項目では他の地域と比べ一番関心が高い。

●「30m内」が3) 道路周辺の緑化で92%、4) 道路標識や案内板の充実で90%、5) 電柱の地下化等の整備で92%と同じくその項目で他地域と比べ一番高い関心を示している。

6 問6 完成した後の便利度

【問：「放射第23号線」が完成した場合、それはあなたにとって便利になりますか？不便になりますか？
(○は一つだけ)】

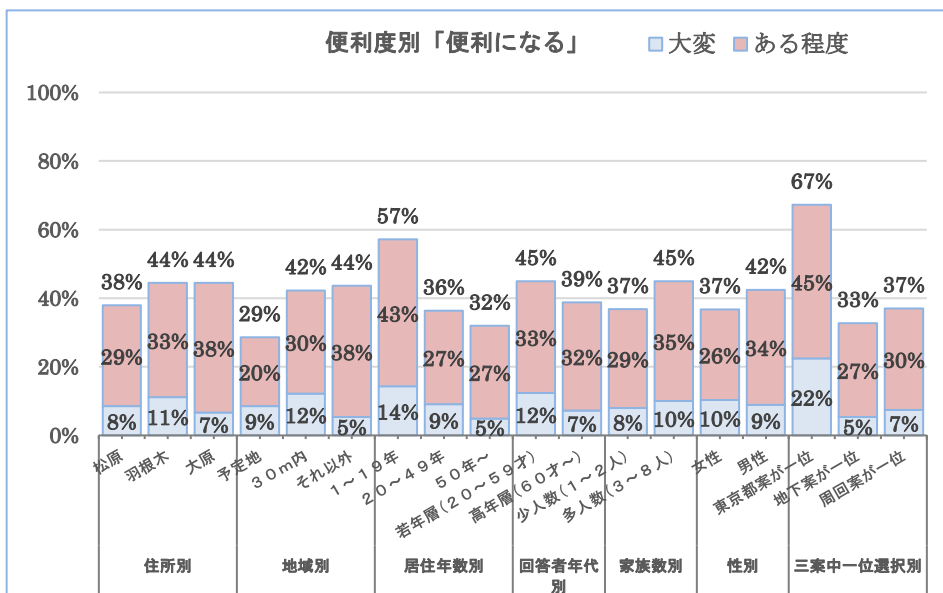
(1) 問6 完成した後の便利度 全体



●「放射第23号線」完成後の便利度の回答結果は「便利になる41%」より、「不便になる55%」の方が多

(2) 問6 完成した後の便利度 一覧

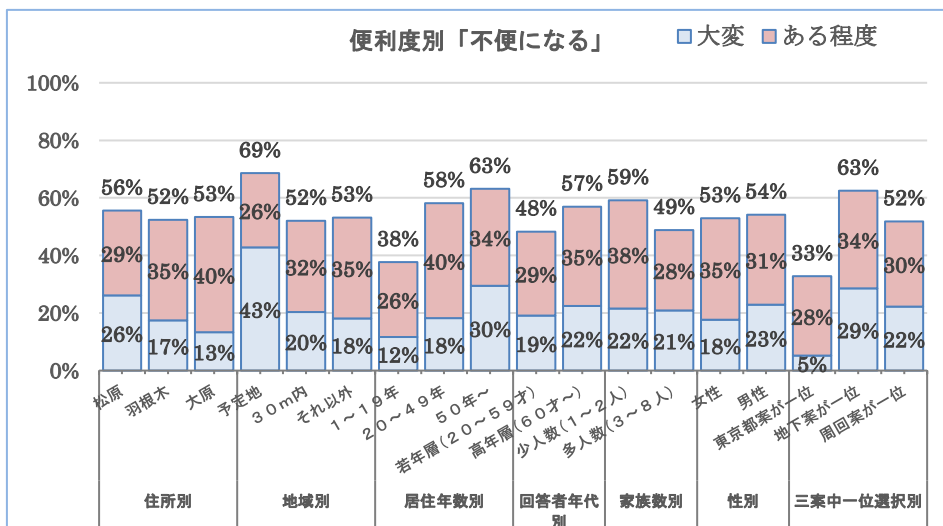
ア 便利になる



●属性別にみると三案中一位選択別で東京都案が一位層の67%が最も高い。

●居住年数別で1から19年の57%、同じく三案中一位選択別で集案案が一位層の57%がそれに続く

イ 不便になる



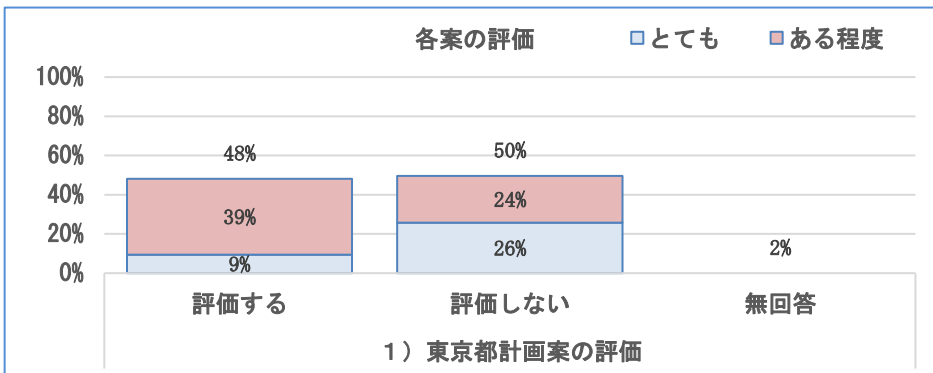
●地域別で「予定地」の69%が不便になると回答。

●次いで居住年数別で「50年以上」が63%、三案中一位選択別で地下案が一位層が同じく63%不便になると回答

7 問8 1) 東京都計画案の評価

問8 それでは、都道放射第23号線の「東京都計画案」について全体的にみてどう評価しますか？（○は一つだけ）

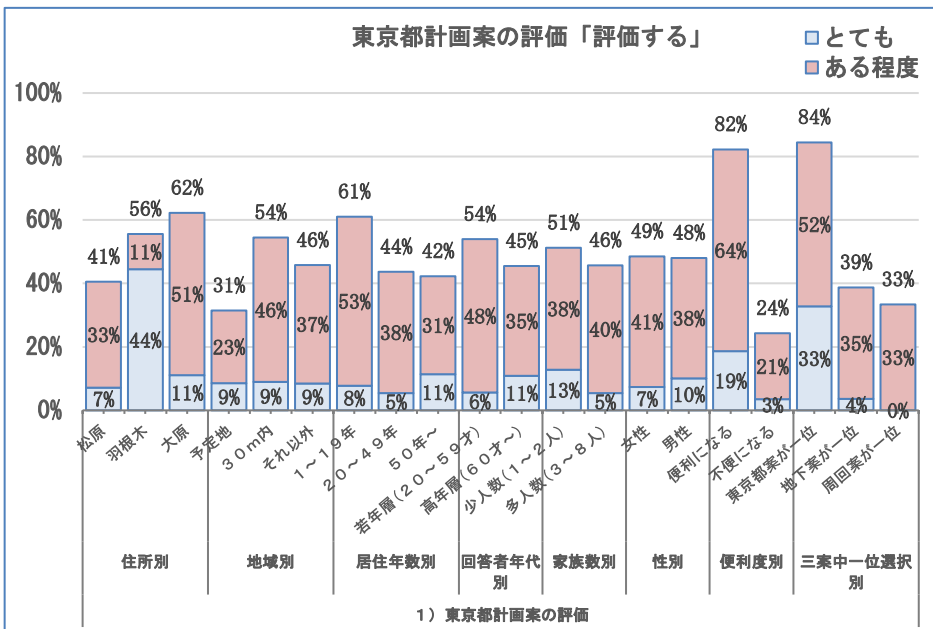
(1) 問8 1) 東京都計画案の評価 全体



- 「評価する」と「評価しない」が48%と50%と拮抗している。
- 内訳をみると「評価する」は「とても評価する」が9%だが、「評価しない」は「まったく評価しない」が26%で「とても評価する」の3倍に達する。

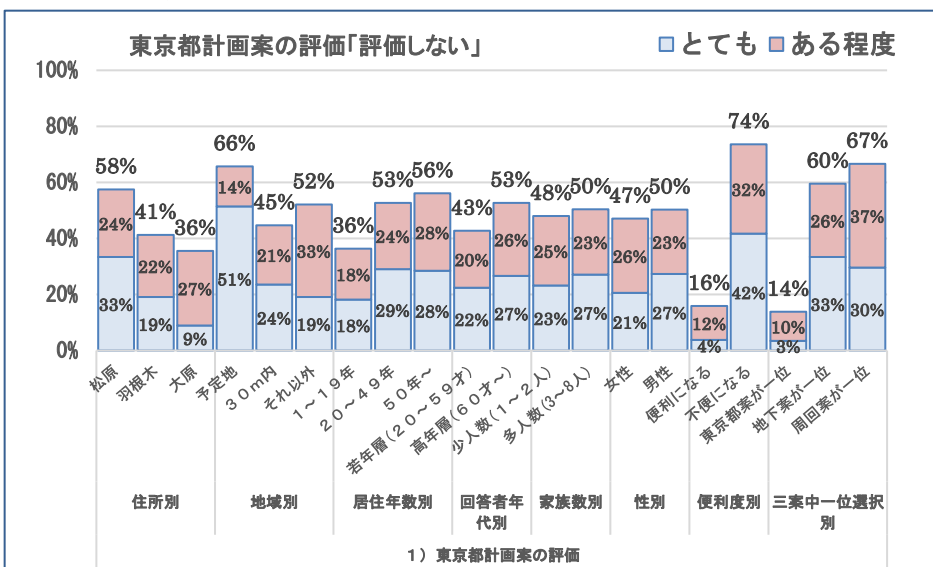
(2) 問8 1) 属性別東京都計画案の評価 一覧

ア 評価する



- 東京都案を「評価する」で最も多いのは便利度別で「便利になる」の82%である。次いで住所別で大原の62%、居住年数別で1~19年の61%である。
- 残りは住所別の羽根木56%、回答者年代別の若年層54%、家族数別の少人数51%を除き50%以下である。
- 「評価する」の回答が低いのは「不便になる」24%、「予定地」31%、三案中一位選択別で「周回案が一位」の層の33%である。
- 「東京都案が一位」選択層が高い評価をしているのは当然といえる。

イ 評価しない

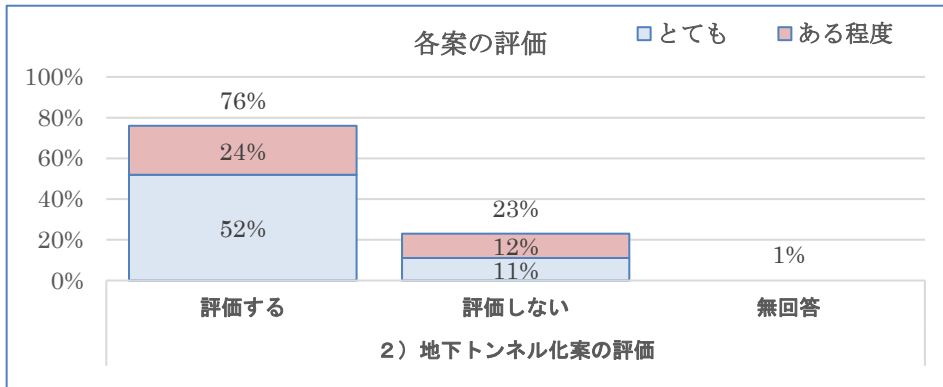


- 東京都案を「評価しない」の回答で最も多いのは便利度別で「不便になる」とした層の74%である。
- 次いで三案中一位選択別で「周回案が一位」とした層の67%、地域別で「予定地」の66%、住所別で大原の62%がそれに続く。

8 問9 2) 地下トンネル化案の評価

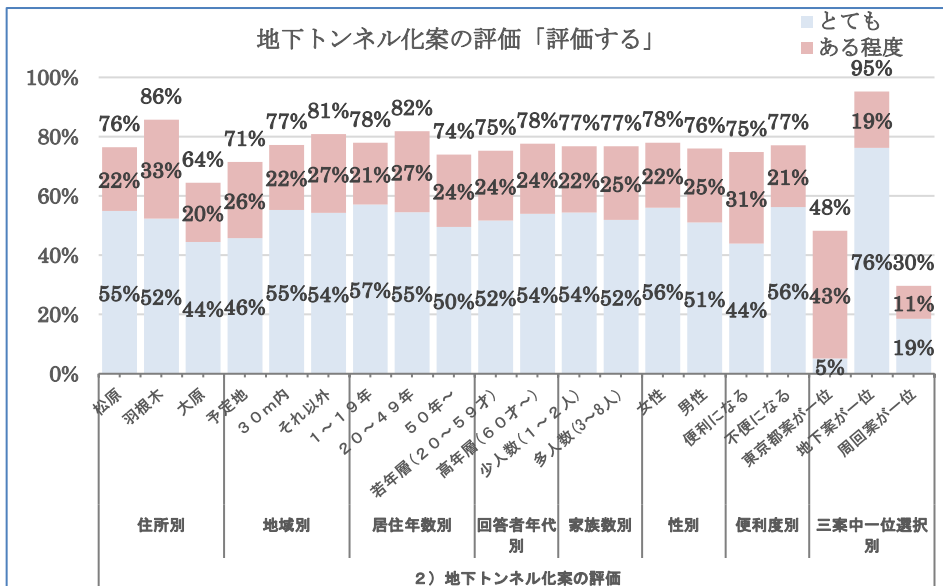
問9では、参考資料の代替案A「地下トンネル化案」についてはどう評価しますか？(〇は一つだけ)

(1) 問9 2) 地下トンネル化案の評価 全体



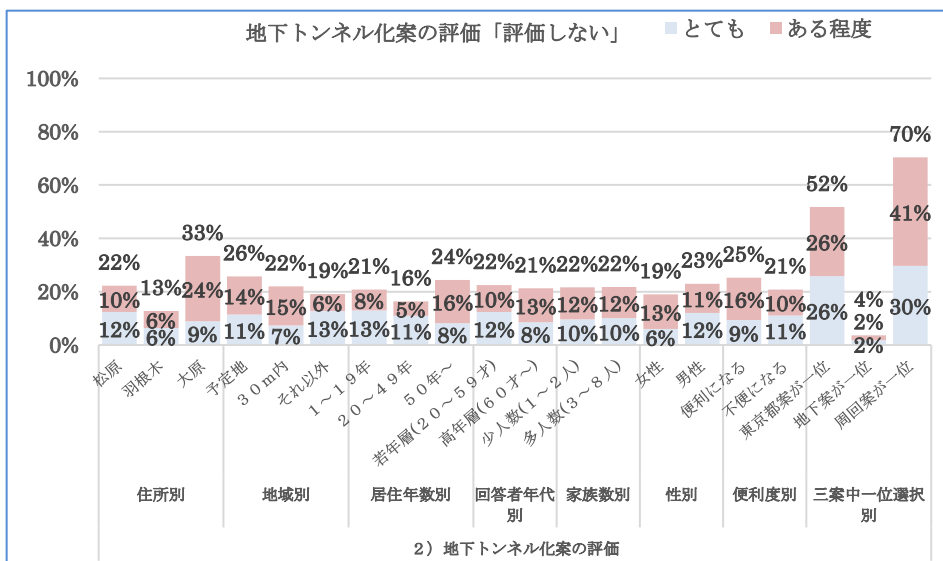
- 「評価する」は76%で「評価しない」23%の3倍以上ある。
- また「とても評価する」52%は「まったく評価しない」11%のほぼ5倍である。

(2) 問9 2) 属性別地下トンネル化案の評価 一覧 ア 評価する



- 地下案を「評価する」の回答が最も多いのは住所別で羽根木の86%である。
- 次いで居住年数別で20~49年の82%、地域別で「それ以外」の81%が続く。
- 「評価する」の回答が少ないのは三案中一位選択別で「周回案が一位」とした層の30%、「東京都案が一位」とした層の48%、住所別で大原の64%である。
- 三案中一位選択別で「地下案を一位」とした層が多いのは当然といえる。

イ 評価しない

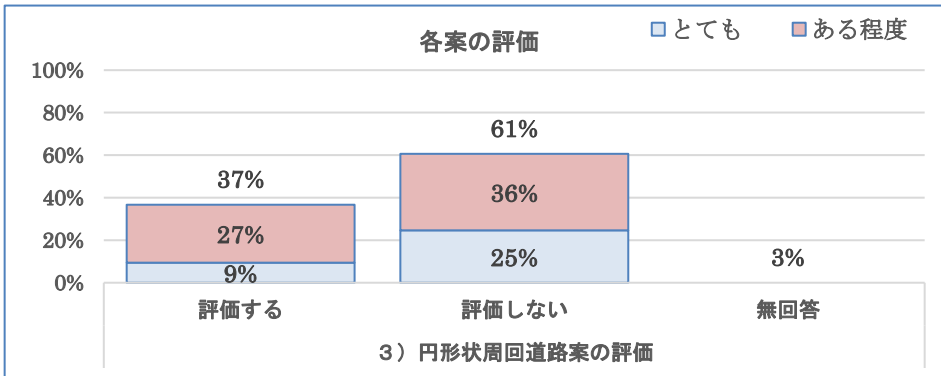


- 地下案を「評価しない」の回答が最も多いのは三案中一位選択別で「周回案が一位」とした層の70%である。
- 次いで同じく「東京都案が一位」とした層の52%、住所別で大原の33%である。

9 問10 3) 円形状周回道路案の評価

問10次に、参考資料の代替案B「円形状周回道路案」についてはどう評価しますか？（○は一つだけ）

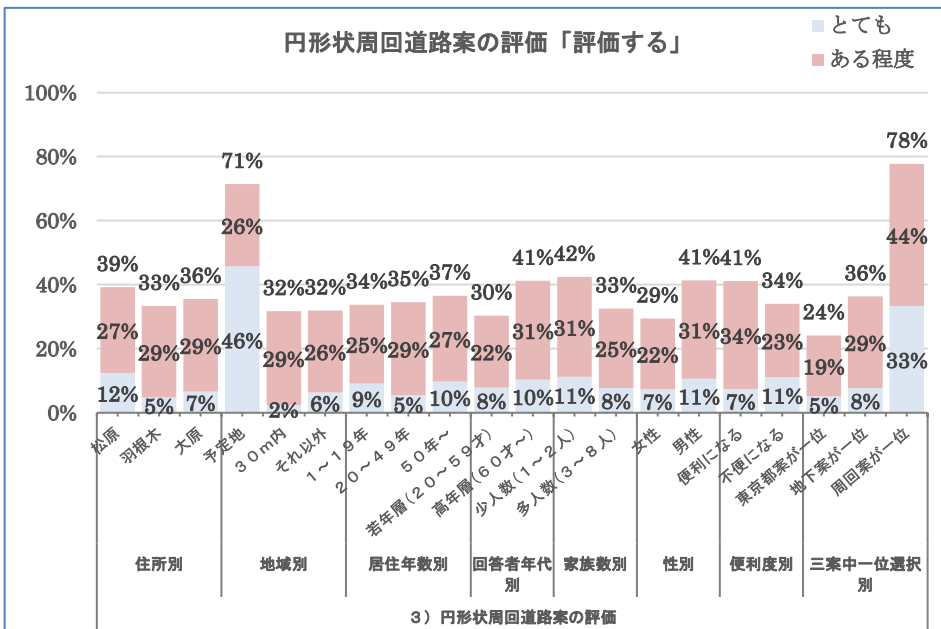
(1) 問10 3) 円形状周回道路案の評価 全体



●「評価する」37%を「評価しない」61%が1.5倍以上上回る。

(2) 問10 3) 属性別円形状周回道路案の評価 一覧

ア 評価する



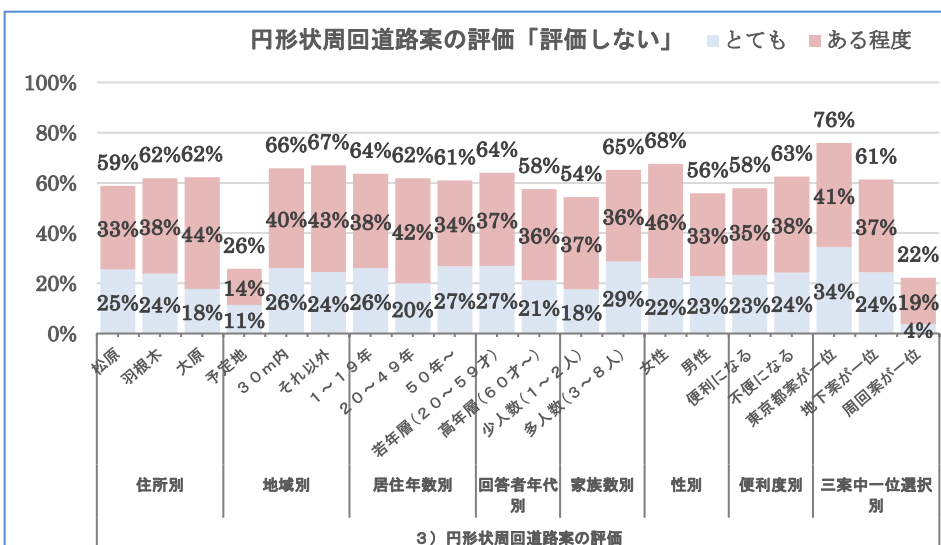
●周回案を「評価する」の回答が最も多いのは、地域別で予定地の71%である。

●次いで多いのは家族数別で「少人数」の42%。回答者年代別で「高年齢」層、性別で男性、道路完成後便利度で「便利になる」層の3属性が41%で続く。

●「評価する」の回答が少ないのは三案中一位選択別で「東京都案が一位」とした層で24%である。

●三案中一位選択別で「周回案が一位」とする層が周回案を「評価する」が多いのは当然といえる。

イ 評価しない



●周回案を「評価しない」の回答で最も多いのは三案中一位選択別で「東京都案が一位」とした層の76%である。

●次いで性別で女性の68%、地域別で「それ以外」の67%である。

10 問8～問10 各案の評価一覧

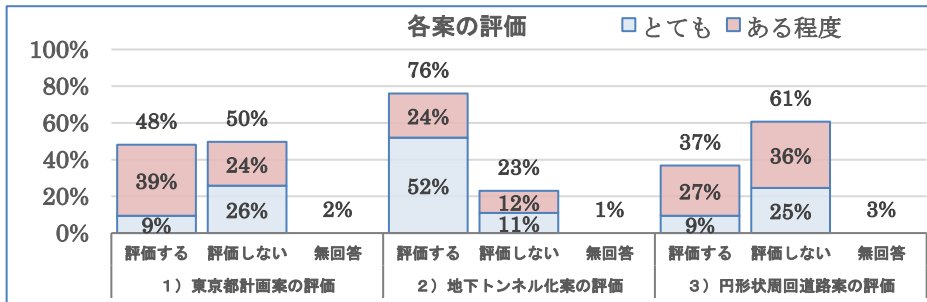
【<再掲> 問：<< 以下は別紙「参考資料」をご覧ください。>>

問8 それでは、都道放射第23号線の「東京都計画案」について全体的にみてどう評価しますか？（○は一つだけ）

問9 では、参考資料の代替案A「地下トンネル化案」についてはどう評価しますか？（○は一つだけ）

問10 次に、参考資料の代替案B「円形状周回道路案」についてはどう評価しますか？（○は一つだけ）

(1) 問8～問10 各案の評価一覧 全体



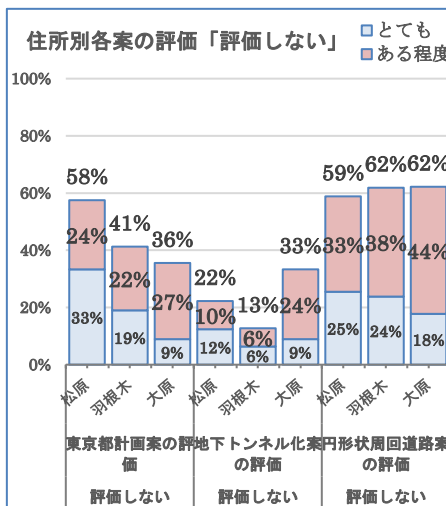
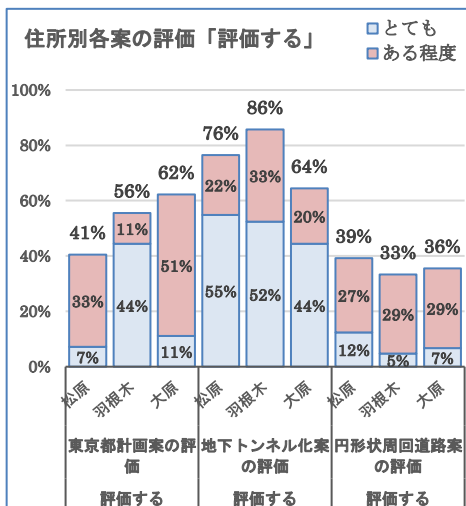
●評価するでは、地下案の評価が76%と高い。次いで東京都案の48%、周回案の37%の順である。

●一方、評価しないでは、周回案が61%、東京都案が50%、地下案が23%の順である。

●東京都案は評価する評価しないが、ほぼ半々である。

(2) 問8～問10 属性別 各案の評価 一覧

ア 問8～問10 住所別 各案の評価一覧

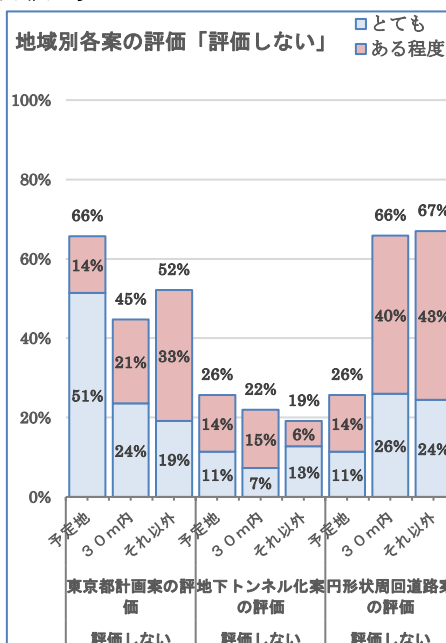
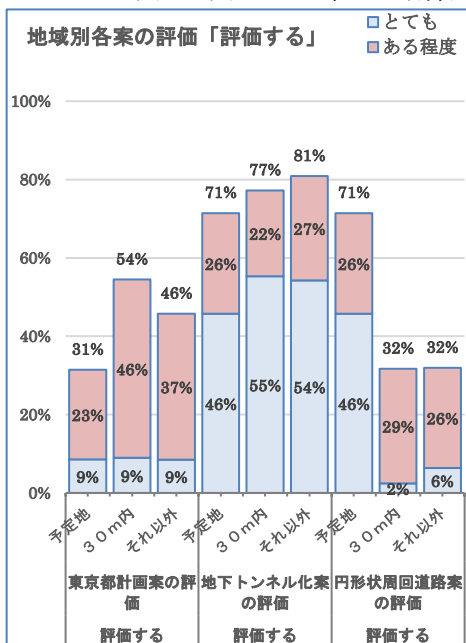


1) 東京都案は大原が62%評価しているのに対し、松原は41%の評価にとどまり、58%が評価しないとして松原だけが評価すると評価しないが逆転している。

2) 地下案の評価は松原、羽根木、大原とも高く中でも羽根木は86%が評価をしている。一方、大原は33%が地下案を評価しないとしている。

3) 周回案は松原59%、羽根木、大原は62%が評価しないとしておりどの住所でも評価しないが評価するを上まわっている。

イ 問8～問10 地域別 各案の評価一覧

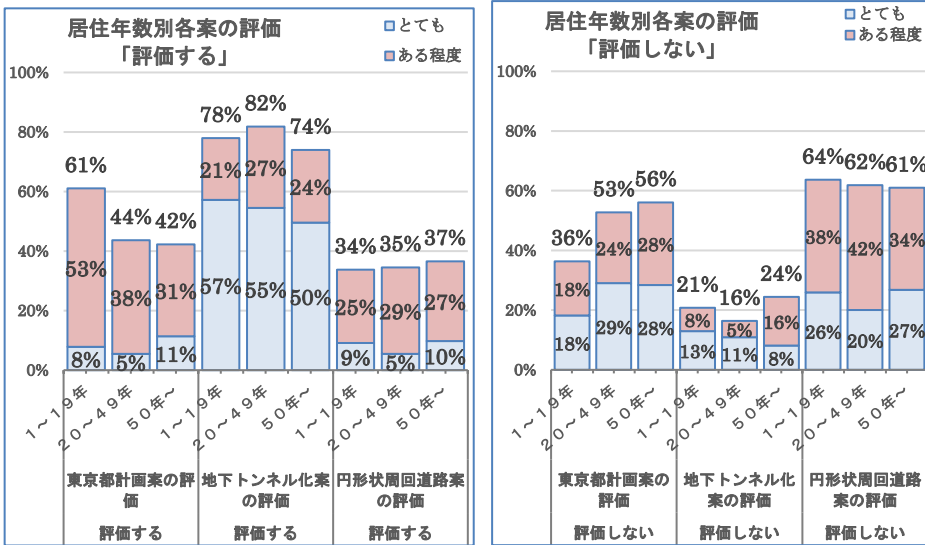


1) 東京都案は「予定地」では「評価する」31%を「評価しない」66%が2倍以上上回る。「それ以外」でも「評価する」46%を「評価しない」52%が上回る。「30m内」では逆に「評価する」54%が「評価しない」45%を上回る。

2) 地下案はどの地域も評価するが71%以上で26%以下の評価しないを大きく上回っている。

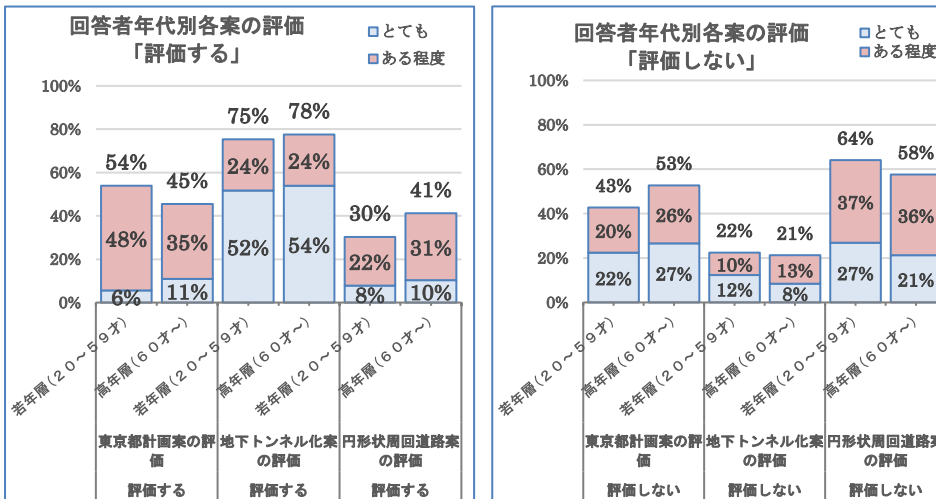
3) 周回案は「予定地」で「評価する」71%が「評価しない」26%を3倍近く上回る。逆に「30m内」では「評価する」32%を「評価しない」66%が、「それ以外」も「評価しない」67%が「評価する」32%を各2倍以上上回る。

ウ 問8～問10 居住年数別 各案の評価一覧



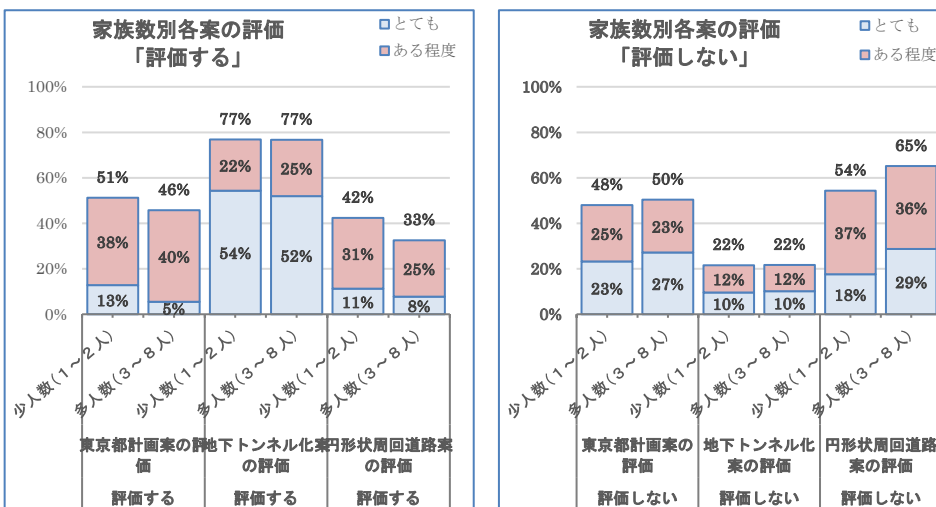
- 1) 東京都案は「1～19年」で「評価する」61%が「評価しない」36%を上回るが、逆に20～49年では「評価する」44%を「評価しない」53%が上回り、同じく50年～でも「評価する」42%を「評価しない」56%が上回る。
- 2) 地下案はどの年代も3倍ほど「評価する」が「評価しない」を上回る。
- 3) 周回案ではどの居住年数でも「評価する」を「評価しない」が2倍ほど上回っている

エ 問8～問10 回答者年代別 各案の評価一覧



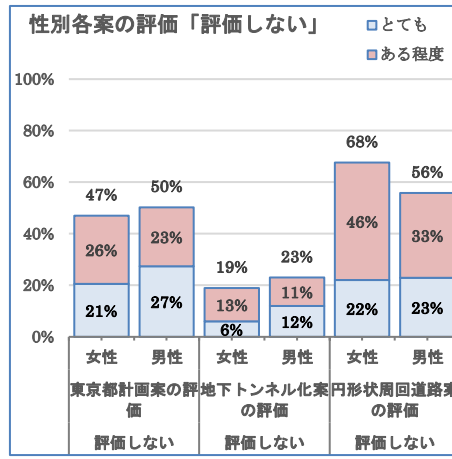
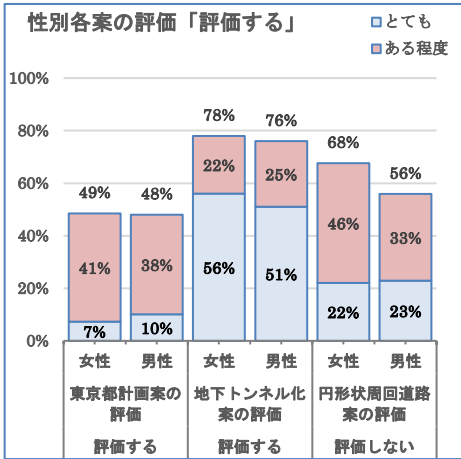
- 1) 東京都案は若年層で「評価する」54%が「評価しない」43%を11%上回るが、逆に高年齢層では「評価する」45%を「評価しない」53%が8%上回る。
- 2) 地下案は若年層、高年齢層とも「評価する」が「評価しない」を3倍以上上回る。
- 3) 周回案は若年層で「評価する」30%を「評価しない」64%が倍以上上回る。同じく高年齢層でも「評価する」41%を「評価しない」58%が17%上回る

オ 問8～問10 家族数別 各案の評価一覧



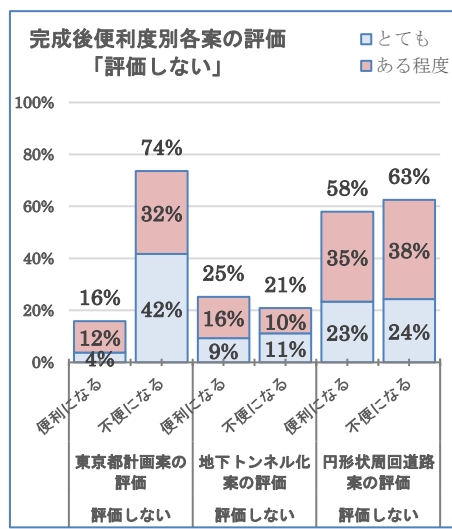
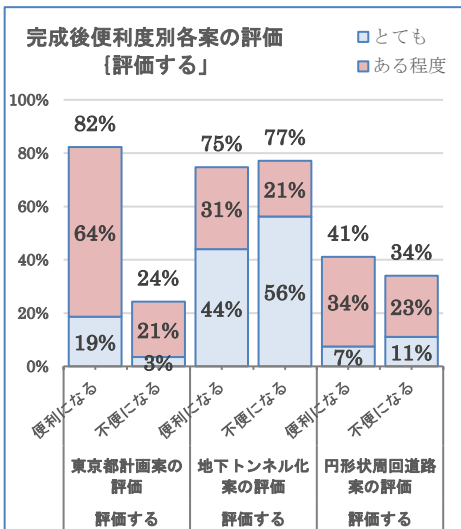
- 1) 東京都案は少人数層で「評価する」51%が「評価しない」48%を3%上回るが、逆に多人数層では「評価する」46%を「評価しない」50%が4%上回る。
- 2) 地下案は少人数層、多人数層とも「評価する」が「評価しない」を3倍以上上回る。
- 3) 周回案は小人数層で「評価する」42%を「評価しない」54%が12%上回り、同じく多人数層でも「評価する」33%を「評価しない」65%がほぼ倍の32%上回る

カ 問8～問10 性別 各案の評価一覧



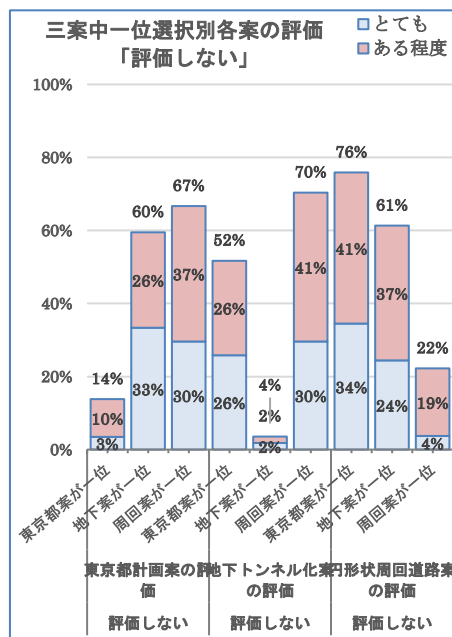
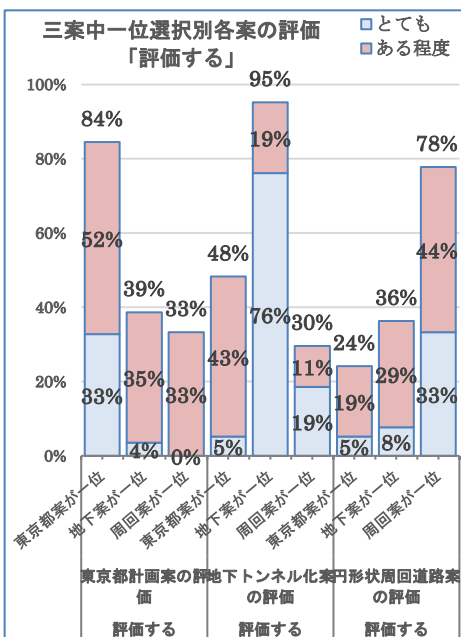
- 1) 東京都案は男女差はなく「評価する」「評価しない」がほぼ同等である。
- 2) 地下案は男女差はなく「評価する」が「評価しない」を3倍以上上回る。
- 3) 周回案では男女とも評価するを評価しないが上回っている

キ 問8～問10 完成後便利度別 各案の評価一覧



- 1) 東京都案は便利になる層で「評価する」82%が「評価しない」16%を5倍以上の66%上回るが、逆に不便になる層では「評価する」24%を「評価しない」74%が約3倍の50%上回る。
- 2) 地下案は便利になる層、不便になる層とも「評価する」が「評価しない」を3倍以上上回る。
- 3) 周回案は便利になる層で「評価する」41%を「評価しない」58%が17%上回り、同じく不便になる層でも「評価する」34%を「評価しない」63%が倍近く29%上回る

ク 問8～問10 三案中一位選択別 各案の評価一覧



- 1) 東京都案は、問11で地下案を一位選択した層の39%、周回案一位選択層の33%が評価している。しかし、地下案一位選択層の60%、周回案一位選択層の67%が評価しない。
- 2) 地下案は東京都案一位選択層の48%、周回案一位選択層の30%が評価している。一方東京都案一位選択層の52%、周回案一位選択層の70%が評価しない。
- 3) 周回案は東京都案一位選択層の24%、地下案一位選択層の36%が評価している。しかし東京都案一位選択層の76%、地下案一位選択層の61%が評価しない。

11 問1～問10 住所別及び地域別 回答内容 一覧纏め

(1) 問1～問10 住所別質問別 回答「はい」の比率 一覧

ア 23号線との関係から見た住所の特性



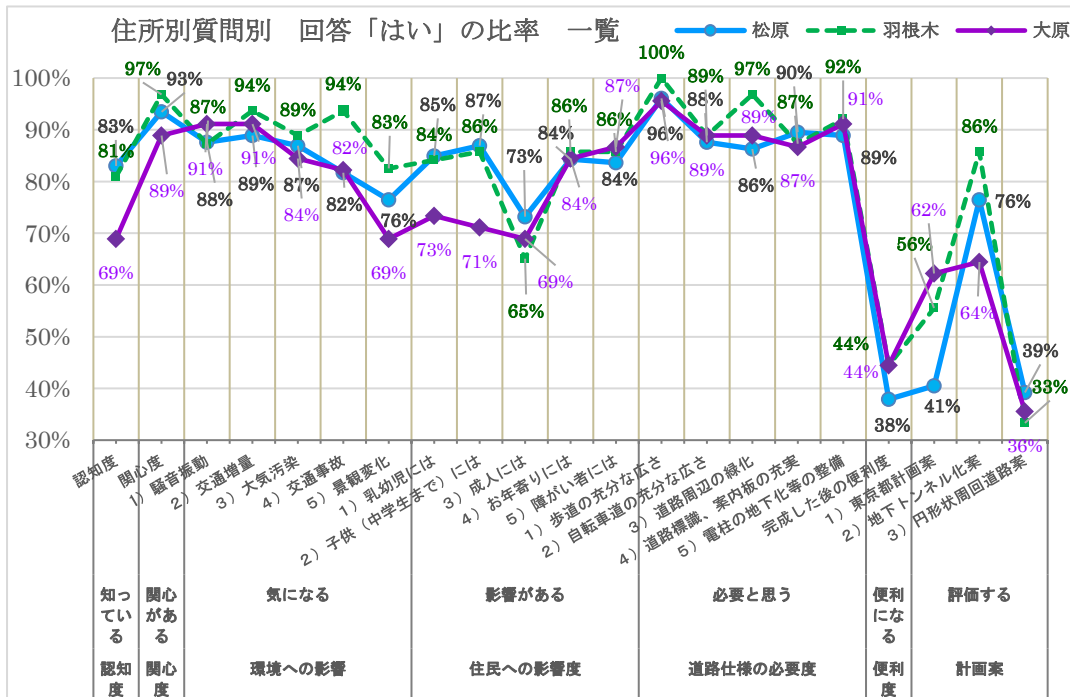
今回アンケート範囲の住所の特性として

- 松原は23号線が住宅地の真ん中を通り影響を受ける戸数が多い。第1種低層住居専用地域が大半だが北側に京王線が通り、京王線北側に第1種住居地域、さらに北側の甲州街道脇は商業地域である。
- 羽根木は北側大原2丁目に属する和田堀給水所と羽根木の境界を23号線が通るが、23号線は大原2丁目内を通る。羽木神社北側脇に当たる。羽根木の大半は第1種低層住居専用地域であるが東側に第1種住居地域がある。
- 大原は現状の井之頭通りが通り、環七から和田堀給水所までは現在の通りの上に計画道路が計画されている。第1種住居地域や近隣商業地域に属する。北側には京王線代田橋駅があり、そのさらに北側に甲州街道が通る。

イ 住所別質問別 回答「はい」の比率 一覧

質問に対する回答「はい」の比率を一覧で示す。「便利度」は「道路完成後便利になると思うか」に対して「はい」の回答比率である。

- 松原は羽根木と大原の間の比率が多いが、認知度は83%と他の住所より一番高い。完成した後の便利度の評価はどの住所も低いが中でも38%と一番低い。東京都案の評価も41%と一番低い。逆に周回案は39%と他の住所よりも一番高いものの東京都案の評価41%よりも評価は低い。
- 羽根木は「はい」の回答が松原、大原よりも多い。道路仕様の必要度で「1) 歩道の十分な広さ」100%「3) 道路周辺の緑化」97%と高い。地下案の評価が86%と各住所の中で一番高い。住民への影響度で成人への影響度の「はい」は各住所とも低いですが、羽根木は65%と一番低い
- 大原は「はい」のものが他の住所より低い項目が多い。認知度、関心度は各住所の中で最も低く、「環境への影響」で「5) 景観変化」が気になるは69%、「住民への影響度」で「1) 乳幼児には」73%、「2) 子供(中学生まで)」には71%が影響があると回答している他の住所と比べて低いのが目につく。「気にならない」「影響がない」と考えている人が3割前後いるともいえる。東京都案の評価が62%、地下案が64%と両案とも評価は60%台であり高くなく、ほぼ同等の評価といえる。



景観変化」が気になるは69%、「住民への影響度」で「1) 乳幼児には」73%、「2) 子供(中学生まで)」には71%が影響があると回答している他の住所と比べて低いのが目につく。「気にならない」「影響がない」と考えている人が3割前後いるともいえる。東京都案の評価が62%、地下案が64%と両案とも評価は60%台であり高くなく、ほぼ同等の評価といえる。

(2) 問1～問10 地域別質問別 回答「はい」の比率 一覧

ア 23号線との関係から見た地域の特性

今回アンケート範囲の地域の特性として

- 「予定地」の地域は東京都案の計画道路のために一部あるいは全部の用地が買収される地域であり、計画道路完成後に残る用地の状態により引っ越すなり計画道路に接して住むなどになる。
- 「30m以内」の地域は東京都案の計画道路完成後は計画道路に隣接するようになる。
- 「それ以外」の地域は東京都案の計画道路から近いが直接接しない地域である。

イ 地域別質問別 回答「はい」の比率 一覧

質問に対する回答「はい」の比率を一覧で示す。「便利度」は「道路完成後便利になると思うか」に対して「はい」の回答比率である。

● 「予定地」では認知度は91%と一番高いが、関心度は「30m内」より低く「それ以外」と同じく91%である。「環境への影響度」は「30m内」より低い、「それ以外」と比べると「2）交通増量」以外の「1）騒音振動」「3）大気汚染」「4）交通事故」「5）景観変化」4項目で「それ以外」より高い。

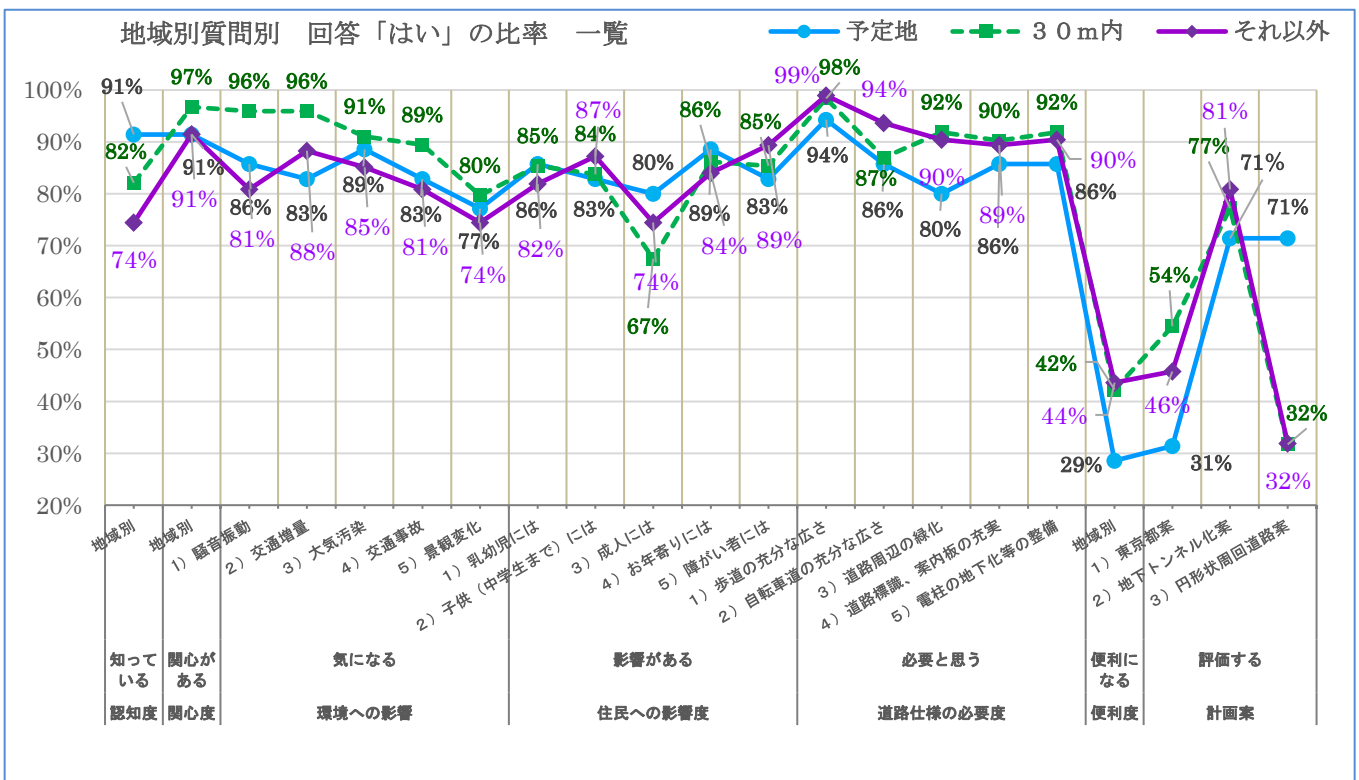
「住民への影響度」では「1）乳幼児には」「3）成人には」「4）お年寄りには」で他の地域と比べて一番影響があると回答している。一方、「2）子供（中学生まで）には」「5）障がい者には」では他の地域と比べて一番低い。「道路仕様の必要度」の気になるは3地域の中でどの項目も一番低い。完成後便利になるかの「便利度」も一番低い。

東京都案の評価は31%、地下案も71%であるが3地域で最も低い。周回案は71%と3地域中最も高い。

● 「30m以内」は関心度で「関心がある」が97%と一番高い。「環境への影響度」も一番高い。「住民への影響」は予定地とほぼ同じで高いが「3）成人には」では67%と一番低い回答である。「道路仕様の必要度」は「3）道路周辺の緑化」92%、「4）道路標識、案内板の充実」90%、「5）電柱の地下化等の整備」92%と一番高い。「1）歩道の十分な広さ」98%、「2）自転車道の十分な広さ」87%で一番高い「それ以外」に次いで2位である。

三案の評価では「1）東京都案」が54%で他の地域と比べて一番評価が高いのが目を引く。「2）地下トンネル化案」77%で「それ以外」に次いで2位、「3）円形状周回道路案」32%は「それ以外」と同率で1位である。

● 「それ以外」の地域は認知度が74%と3地域中一番低い。環境への影響が気になるは「1）騒音振動」「4）交通事故」「5）景観変化」が3地域中1番低く、「2）交通増量」「3）大気汚染」は2位である。道路仕様の必要度では1）歩道の十分な広さ「2）自転車道の十分な広さ」「3）道路周辺の緑化」で3地域中一番必要と思うの回答が高い。地下案の評価は3地域中一番高い。



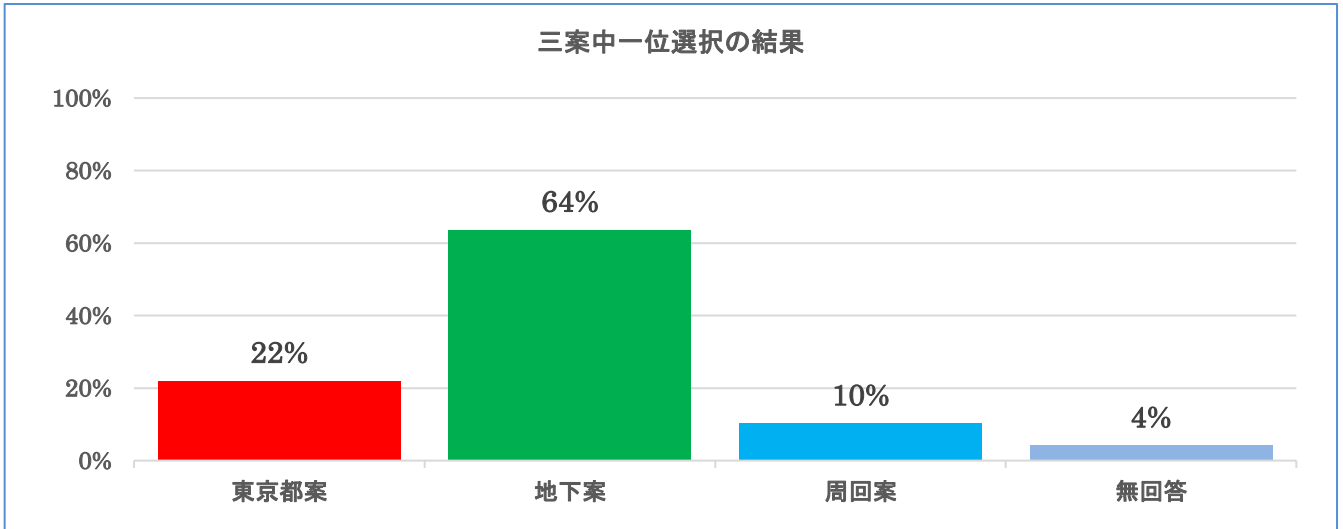
1.2 問1.1 三案中一位選択の結果

【問11：「東京都計画案」と「地下トンネル化案」と「円形状周回道路案」の3案を比較して、あなたご自身はどの案が最も良いと思いますか？ 二番目に良いと思うのはどれですか？ 三番目だと思えるのはどれですか？（〇は各一つずつ）

- (1) 最も良いと思う案
- (2) 二番目に良いと思う案
- (3) 三番目だと思える案

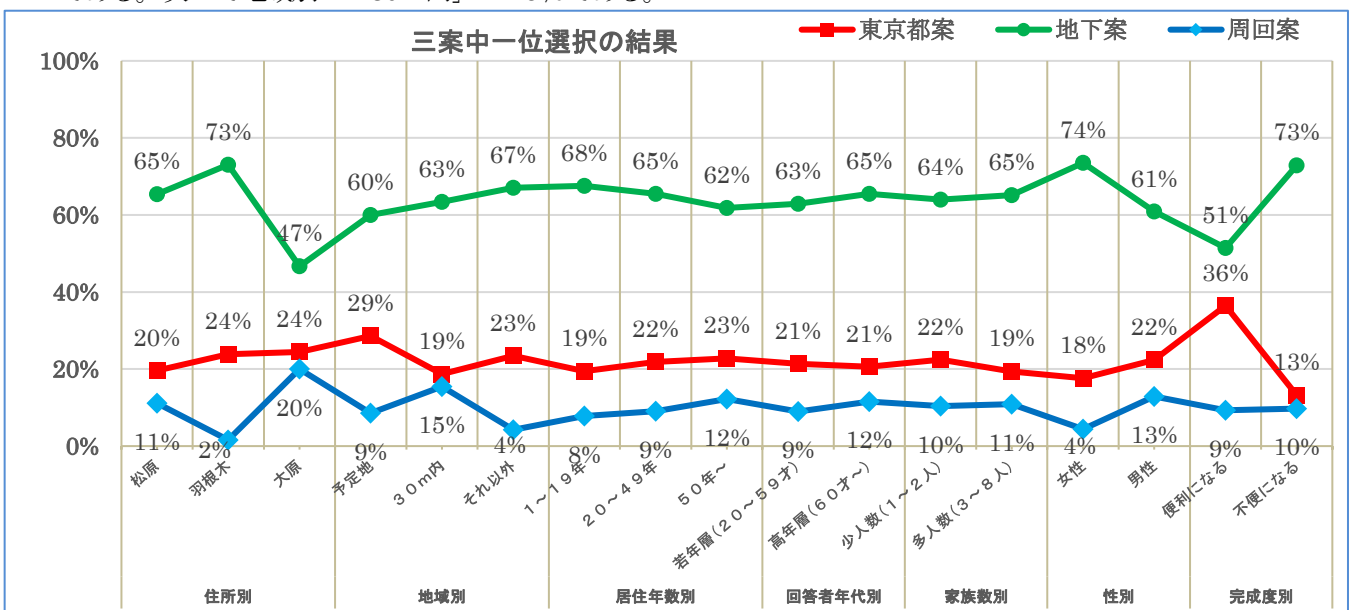
(1) 問11 三案中一位選択の結果 全体

- 全体では回答者の64%が「地下トンネル化案」が「最も良い」として一位選択していることが分かる。次いで、22%が「東京都案」が最も良いと考えている。周回案が最も良いと考えている回答者は10%である。



(2) 問11 三案中一位選択の結果 属性別一覧

- 全体** どの属性でも3案を比較し「もっとも良い(一位選択)」としたのは「地下案」であることが分かる。
- 東京都案** 「東京都案」を「もっとも良い(一位選択)」とした回答者で比率が高いのは、便利度別の「完成すると便利になる」の36%である。次いで地域別の「道路予定地」の29%である。
- 地下案** 「地下案」を「もっとも良い(一位選択)」とした回答者で比率が高いのは、住所別の羽根木の73%、性別の女性の74%である。また「地下案」を「もっとも良い」とした73%の回答者は便利度で「完成すると不便になる」と考えている事も分かる。
- 周回案** 「周回案」を「もっとも良い(一位選択)」とした回答者で比率が高いのは、住所別の「大原」の20%である。次いで地域別の「30m内」の15%である。



13 問12 三案中一位選択の理由

【問11：では「最も良いと思う案」を選ばれた理由は、次のどちらですか？

(1)～(9)のそれぞれの項目について「はい」「いいえ」でお答え下さい。(○は各一つずつ)

- (1) 完成時期が早い方が良いと思うから
- (2) 住民の立ち退きはやむをえないと思うから
- (3) 周辺生活道への車の進入はやむをえないと思うから
- (4) 高齢者（及び介護者）にとって暮らしにくくなると思うから
- (5) 乳幼児・児童（保護者）にとって暮らしにくくなると思うから
- (6) 住宅地が変化してしまうと思うから
- (7) 総建設費（含む土地収用費）が余り多くならないと思うから
- (8) 沿道地域の開発が必要だと思うから
- (9) 閑静な住宅地を守りたいと思うから】

(1) 問12 三案中一位選択の理由

ア 東京都案

高い順に以下の順になっている。

- 2) 住民の立ち退きはやむをえない 79%
- 1) 完成時期が早い方が良い 71%
- 8) 沿道地域の開発が必要だから 62%
- 7) 総建設費が多くなると困る 59%
- 3) 生活道への車の進入はやむをえない 50%
- 9) 閑静な住宅地を守りたい 50%
- 4) 他案は高齢者・介護者にとって暮らしにくくなる 34%
- 5) 他案は乳幼児・児童にとって暮らしにくくなる 29%
- 6) 住宅地変化が変化してしまうと困る 17%

イ 地下案

高い順に以下の順になっている。

- 9) 閑静な住宅地を守りたい 86%
- 6) 住宅地変化が変化してしまうと困る 74%
- 4) 他案は高齢者・介護者にとって暮らしにくくなる 67%
- 5) 他案は乳幼児・児童にとって暮らしにくくなる 65%
- 7) 総建設費が多くなると困る 38%
- 8) 沿道地域の開発が必要だから 33%
- 1) 完成時期が早い方が良い 30%
- 3) 生活道への車の進入はやむをえない 14%
- 2) 住民の立ち退きはやむをえない 11%

ウ 周回案

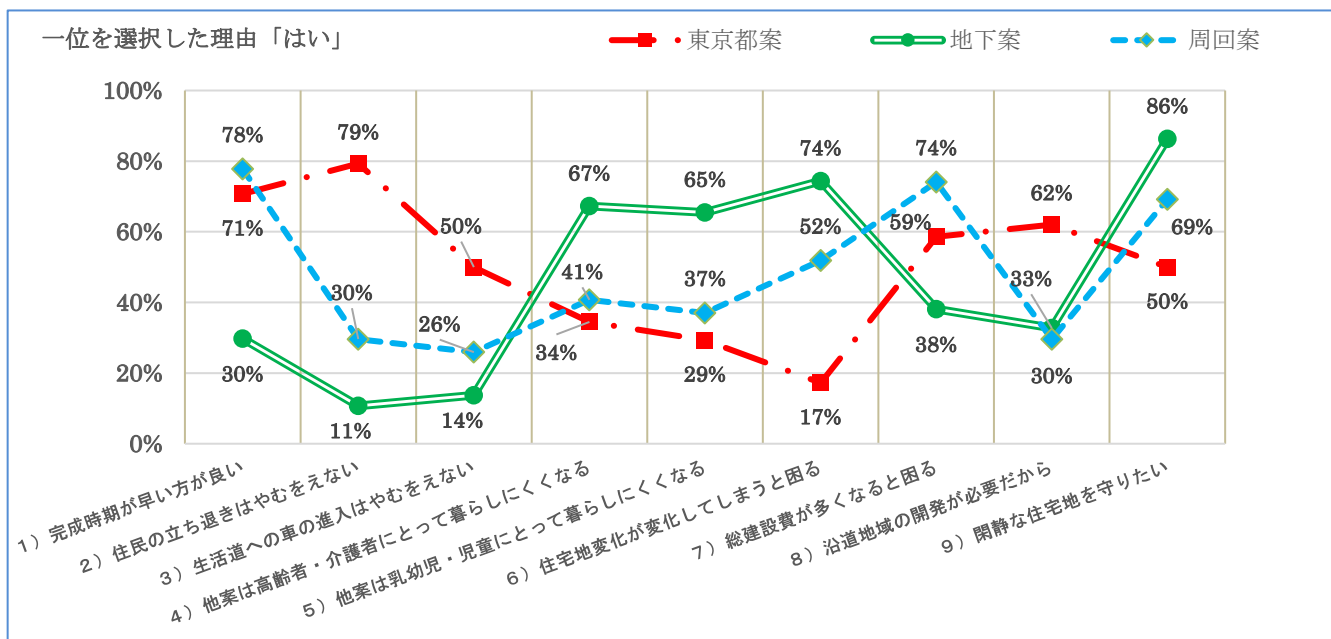
高い順に以下の順になっている。

- 1) 完成時期が早い方が良い 78%
- 7) 総建設費が多くなると困る 74%
- 9) 閑静な住宅地を守りたい 69%
- 6) 住宅地変化が変化してしまうと困る 52%
- 4) 他案は高齢者・介護者にとって暮らしにくくなる 41%
- 5) 他案は乳幼児・児童にとって暮らしにくくなる 37%
- 2) 住民の立ち退きはやむをえない 30%
- 8) 沿道地域の開発が必要だから 30%
- 3) 生活道への車の進入はやむをえない 26%

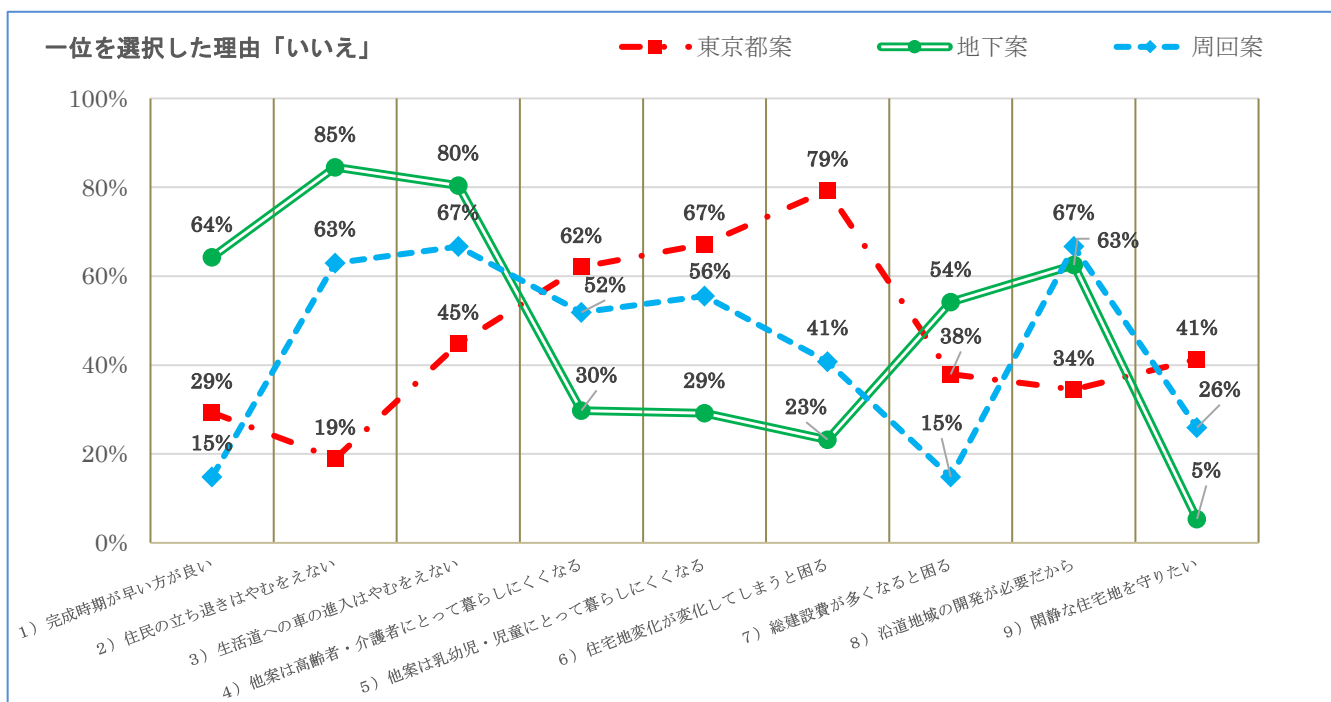
グラフで分かるように東京都案、地下案の一位選択理由は対照的になっている。
周回案を一位に選択した理由はおおむね地下案と東京都案の中間となっている。

(2) 問 12 三案中一位選択の理由

ア 問 12 三案中一位選択の理由「はい」のグラフ



イ 問 12 三案中一位選択の理由「いいえ」のグラフ



なお、1位を選択した理由の「いいえ」は若干注釈が必要といえる。アンケート質問文に「(8) 沿道地域の開発が必要だと思うから」のような肯定的な文と「(6) 住宅地が変化してしまうと思うから」のような否定的な文がある。これらに対する「いいえ」の回答は、①単純に「選択した理由ではない」と解釈するか、②「沿道地域の開発は不要と思うから」「住宅地は変化したほうが良いと思うから」という質問文の反対の意見を積極的に表明したものと解釈するか、解釈が若干難しいところがある。

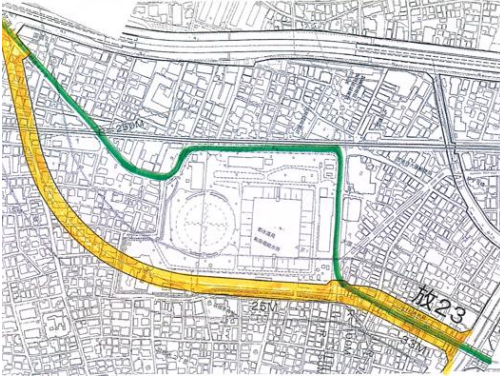
しかし、質問文回答の「はい」が低い項目は「いいえ」が高くなっていることがグラフから分かるので、ここでは「「はい」の高い比率及び低い比率それぞれが1位を選択した理由である」として上記の分析を行った。各案の特徴とこのアンケート結果を照らし合わせて考えれば以上の解釈は妥当であると言える。

参考資料

1 アンケート参考資料

参考資料 (1)

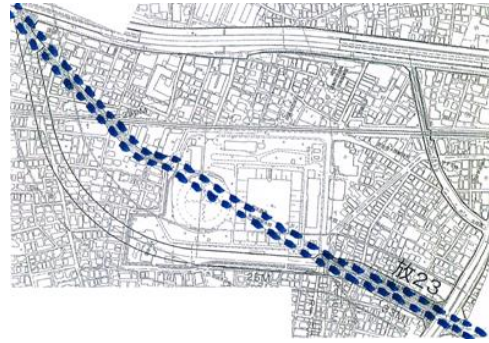
【 都道放射第23号線・東京都計画案 】



1. 起点は大原二丁目交差点(環状七号線)、終点は松原交差点(甲州街道)です。
2. 道路の幅員は25メートル(一部33メートルの箇所があります。)
3. 構造は「自動車道、自転車道、歩道」で中央分離帯もあり、また、歩道緑化および電線、電柱の地中化計画もあります。
4. 自動車道の車線は停車帯を設けた片側1車線、両側2車線です。
5. 住民の立ち退きが必要となります。
6. 道路整備により、交通の流れが大きく変化して周辺住民の方の生活に影響すると予想されます。

参考資料 (2)

【 代替案A・地下トンネル化案 】



1. 和田堀給水所の南東端から北西端に向かう一直線の地下トンネル化する案です。
2. トンネル入り口を環状七号線東側、出口を甲州街道先の永福町辺にして、大原二丁目及び松原交差点の渋滞が緩和されます。
3. 住民立ち退きが回避されます。
4. 和田堀給水所の地下を利用するため東京都水道局の協力が必要です。
5. 建物の用途や容積率を規制する用途地域の変更は限定的になると予想されます。
6. 道路整備が必要ないので、周辺住民の方の生活に影響しません。

【 代替案B・円形状周回道路案 】



1. 和田堀給水所を取り囲む道路を円形状に整備して、一方通行の周回道路にする案です。
2. 松原交差点から大原二丁目交差点へ向かう車道(2車線)は現・井の頭道路を一方通行道路として使用し大原二丁目交差点からは給水所南側・西側の境界線に沿って2車線の一方通行道路を新たにつくります。
3. 住民の立ち退きは少数におさえられます。
4. 和田堀給水所の敷地の一部を利用するため東京都水道局の協力が必要です。
5. 一方通行にすることにより、交通の流れが変わって周辺住民の方の生活に影響すると予想されます。

2 アンケート調査票

◀ **新井の頭通り(都道放射第23号線)についてのアンケート** ▶

- このたび、明大前駅周辺地区街づくり協議会では、地元住民の方々のご意見をお聞きして、今後の地域街づくりのための基礎資料にするため、アンケート調査をおこなうことになりました。
東京都が計画しています、井の頭通りをルート変更する都道放射第23号線の道路建設計画について周辺地域にお住まいの方々から率直なご意見をうかがい、今後東京都や世田谷区に住民の意見として提案する資料の一つといたします。
- アンケートは無記名でご記入いただき、内容はアンケートの集計分析のみに使用し、統計資料は本来の目的以外には一切使用いたしません。結果の公表時などにおいても回答者個人が特定されることはございませんので、是非ともご協力下さいますようお願い申し上げます。
- 回答は番号に○印をつけるものと、自由にお書きいただくものがあります。各質問の順番に従ってお答え下さい。尚、ご記入は黒のボールペン、サインペン、万年筆等をお使い下さい。回答いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒(料金不要)に入れて、郵便ポストにご投函下さいますよう、お願いいたします。
- 本アンケートの企画、配布範囲、方法、設問内容の責任は明大前周辺地区街づくり協議会にあります。
- 本アンケートの配布と回収は国土館大学理工学部・寺内義典研究室にお願いし実施いたします。またアンケートの返送先は国土館大学とし、回答済みアンケート用紙は厳重に管理いたします。
返信先は同封封筒に記入済です：国土館大学理工学部・寺内義典研究室 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

アンケート企画	明大前駅周辺地区街づくり協議会 〒156-0043 東京都世田谷区松原1-1-15 甲斐健二郎(会長) http://www.meidaimaemachizukuri.org/
本件問合せ連絡先：03-3321-0467 甲斐(かい) 氣付 折り返しアンケート担当者よりご連絡いたします	

※本活動は「公益信託 世田谷まちづくりファンド」の助成を受けています。

問1 あなたは、都市計画道路「放射第23号線」(井の頭通り)の計画案をご存じでしたか？
一番近い回答を選んで、あてはまる番号に○印をつけて下さい。(○は一つだけ)

よく知っていた	ある程度知っていた	あまりよく知らなかった	まったく知らなかった
1	2	3	4

問2 では、「放射第23号線」の計画案について、どの程度関心がありますか？(○は一つだけ)

非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
1	2	3	4

問3 「放射第23号線」が完成した場合、道路周辺の環境に関してどの程度、気になりますか？
(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(○は各一つずつ)

	非常に気になる	ある程度気になる	あまり気にならない	まったく気にならない
(1) 車の騒音・振動については ……	1	2	3	4
(2) 交通量が増えることについては ……	1	2	3	4
(3) 車による大気汚染については ……	1	2	3	4
(4) 交通事故の不安については ……	1	2	3	4
(5) 景観が変わることについては ……	1	2	3	4

問4 道路が完成すると住民の各層にどの程度、影響があるとお考えになりますか？

(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(○は各一つずつ)

	非常に 影響がある	ある程度 影響がある	あまり 影響がない	まったく 影響がない
(1) 乳幼児には、	1	2	3	4
(2) 子供(中学生まで)には、	1	2	3	4
(3) 成人には、	1	2	3	4
(4) お年寄りには、	1	2	3	4
(5) 障がい者には、	1	2	3	4

問5 同じく、道路の構造や仕様は、どの程度必要だと思えますか？

(1)～(5)のそれぞれの項目についてお答え下さい。(○は各一つずつ)

	絶対 必要だと思う	ある程度 必要だと思う	あまり必要だと 思わない	まったく必要だと 思わない
(1) 歩道の十分な広さ	1	2	3	4
(2) 自転車道の十分な広さ	1	2	3	4
(3) 道路周辺の緑化	1	2	3	4
(4) 道路標識や案内板の充実	1	2	3	4
(5) 電柱の地下化等の整備	1	2	3	4

問6 「放射第23号線」が完成した場合、それはあなたにとって便利になりますか？不便になりますか？

(○は一つだけ)

	非常に 便利になる	ある程度 便利になる	あまり便利に ならない	むしろ 不便になる
	1	2	3	4

問7 将来、道路の改修が行われるとした場合、工事中、あなたはどのような事に不安を感じますか？

不安を感じる事がらを、下欄に自由にお書き下さい。

問8 << 以下は別紙「参考資料」をご覧になってお答えください。>>

それでは、都道放射第23号線の「東京都計画案」について全体的にみてどう評価しますか？

(○は一つだけ)

	とても 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない
	1	2	3	4

問9 では、参考資料の代替案A「地下トンネル化案」についてはどう評価しますか？

(○は一つだけ)

	とても 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない
	1	2	3	4

問10 次に、参考資料の代替案B「円形状周回道路案」についてはどう評価しますか？

(○は一つだけ)

	とても 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない
	1	2	3	4

問11 「東京都計画案」と「地下トンネル化案」と「円形状周回道路案」の3案を比較して、あなたご自身はどの案が最も良いと思いますか？ 二番目に良いと思うのはどれですか？ 三番目だと思うのはどれですか？（○は各一つずつ）

東京都 計画案	地下 トンネル化案	円形状 周回道路案
1	2	3
1	2	3
1	2	3

- (1) 最も良いと思う案 ……………
- (2) 二番目に良いと思う案 ……………
- (3) 三番目だと思う案 ……………

問12 では「最も良いと思う案」を選ばれた理由は、次のどちらですか？

(1)～(9)のそれぞれの項目について「はい」「いいえ」でお答え下さい。

(○は各一つずつ)

	はい	いいえ
(1) 完成時期が早い方が良いと思うから ……………	1	2
(2) 住民の立ち退きはやむをえないと思うから ……………	1	2
(3) 周辺生活道への車の進入はやむをえないと思うから ……	1	2
(4) 高齢者(及び介護者)にとって暮らしにくくなると思うから …	1	2
(5) 乳幼児・児童(保護者)にとって暮らしにくくなると思うから ……	1	2
(6) 住宅地が変化してしまうと思うから ……………	1	2
(7) 総建設費(含む土地収用費)が余り多くならないと思うから	1	2
(8) 沿道地域の開発が必要だと思うから ……………	1	2
(9) 閑静な住宅地を守りたいと思うから ……………	1	2

- (1) 完成時期が早い方が良いと思うから ……………
- (2) 住民の立ち退きはやむをえないと思うから ……………
- (3) 周辺生活道への車の進入はやむをえないと思うから ……
- (4) 高齢者(及び介護者)にとって暮らしにくくなると思うから …
- (5) 乳幼児・児童(保護者)にとって暮らしにくくなると思うから ……
- (6) 住宅地が変化してしまうと思うから ……………
- (7) 総建設費(含む土地収用費)が余り多くならないと思うから
- (8) 沿道地域の開発が必要だと思うから ……………
- (9) 閑静な住宅地を守りたいと思うから ……………
- (10) その他の良いと思う理由がありましたら、下欄に自由にご記入下さい。

問13 都道放射第23号線の整備にともない、周辺の土地の用途地域が変更される場合があります。(例えば建物の高さや容積率の制限など) この件につきご意見がありましたら自由にご記入下さい。

問14 都道放射第23号線の計画案について、都や区に対してご意見がありましたら自由にご記入下さい。

問15 「松原・羽根木・大原」地域の今後の街づくりについて、ご意見がありましたら自由にお書き下さい。

問16 最後に、アンケートの統計分析のために、以下の項目にお答え下さい。

- (1) あなたはどちらにお住まいですか？
- | | | |
|-------|--------|-------|
| 松原1丁目 | 羽根木2丁目 | 大原2丁目 |
| 1 | 2 | 3 |
- (2) あなたは次のどの地域にお住まいですか？
- | | | |
|---------------|-------------------|------|
| 23号線の
予定地域 | 23号線沿道の
30m内地域 | それ以外 |
| 1 | 2 | 3 |
- (3) お宅の住居形態は？
- | | |
|--------|------|
| 一戸建て住宅 | 集合住宅 |
| 1 | 2 |
- (4) お宅の土地は？
- | | |
|------|----|
| 土地保有 | 借地 |
| 1 | 2 |
- (5) お宅の建物は？
- | | |
|-----|----|
| 持ち家 | 借家 |
| 1 | 2 |
- (6) 何年前からこちらにお住まいですか？
- | | |
|----------------------|---------|
| <input type="text"/> | 年くらい前から |
|----------------------|---------|
- (7) ご家族(同居人)全員の方の、性別と年齢を下欄にお書き下さい。
なお、このアンケートをご記入いただいた方は、世帯主・同居者欄に○印をつけて下さい。

	性別	年齢
世帯	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上
同居	1)男 2)女	1) 0～5歳 2) 6～19歳 3) 20～39歳 4) 40～59歳 5) 60～79歳 6) 80歳以上

- (8) あなたご自身はこの一か月位の間に、以下の乗り物をお使いになりましたか？ (○はいくつでも)
その中で、最も多くお使いになった乗り物を、一つだけ選んでお答え下さい。(○は一つだけ)

	自転車	バイク、二輪	自動車	電車	バス	タクシー
一か	1	2	3	4	5	6
最も	1	2	3	4	5	6

◎ アンケート調査にご協力頂き、有難うございました。 ご回答を確認してから同封の返信封筒に入れて
12月20日頃までに、郵便ポストに投函して下さい。(料金は不要)